P3NK-5172-02Z0

FUJITSU Network SR-X
メッセージ集

V02

FUJITSU

はじめに

このたびは、本装置をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
サーバとの共存性を高めた、省スペース・省電力の本製品はサーバ間接続に最適です。

2014 年 10月初版
2018 年 6月第2版

本書の構成と使いかた

本書は、本装置のシステムログメッセージについて説明しています。

本書の読者と前提知識

本書は、ネットワーク管理を行っている方を対象に記述しています。

本書を利用するにあたって、ネットワークおよびインターネットに関する基本的な知識が必要です。

ネットワーク設定を初めて行う方でも「機能説明書」に分かりやすく記載していますので、安心してお読みいただけます。

本書の構成

本書では、システムログメッセージを説明しています。

システムログの形式について

show logging syslog コマンドで表示した場合、システムログは以下の形式で表示されます。

```
<date> <host> <machine> : <message>
```

<date>	**日時が表示されます。**
<host>	**sysname コマンドで設定したホスト名が表示されます。ホスト名を設定していない場合は IP アドレスが表示されます。IP アドレスを何も設定していない場合は、"127.0.0.1" が表示されます。**
<machine>	**機種名が表示されます。**
<message>	**メッセージ本文が表示されます。**

なお、syslog server コマンドで指定した SYSLOG サーバに送信するシステムログメッセージは以下になります。

- syslog header（RFC 準拠）の設定がある場合
  SYSLOG サーバに送信するシステムログメッセージは <date>、<host> および <message> の部分となります。SYSLOG サーバで、<machine> の部分は表示されません。
- syslog header（RFC 準拠）の設定がない場合（工場出荷時）
  SYSLOG サーバに送信するシステムログメッセージは <message> の部分のみとなります。SYSLOG サーバで、<machine> の部分は表示されません。<date> および <host> の部分の表示は、SYSLOG サーバの機能によります。

マークについて

【メッセージ】 **メッセージを記載しています。**

【プライオリティ】 **システムログのレベルを記載しています。**

【意味】 **各メッセージの意味を記載しています。**

【パラメタの意味】 **各パラメタの意味を記載しています。**

本書における商標の表記について

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NTおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Adobeおよび Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Netscapeは、米国Netscape Communications Corporationの商標です。

UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

製品名の略称について

本書で使用している製品名は、以下のように略して表記します。

なお、本文中では®を省略しています。

製品名称	本文中の表記
Microsoft® Windows® XP Professional operating system	Windows XP
Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system	
Microsoft® Windows® 2000 Server Network operating system	Windows 2000
Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system	
Microsoft® Windows NT® Server network operating system Version 4.0	Windows NT 4.0
Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition	Windows Server 2003
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Datacenter Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Datacenter Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Web Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition for Itanium-based systems	
Microsoft® Windows Server® 2003, Datacenter x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Datacenter x64 Edition	
Microsoft® Windows Vista® Ultimate operating system	Windows Vista
Microsoft® Windows Vista® Business operating system	
Microsoft® Windows Vista® Home Premium operating system	
Microsoft® Windows Vista® Home Basic operating system	
Microsoft® Windows Vista® Enterprise operating system	
Microsoft® Windows® 7 64bit Home Premium	Windows 7
Microsoft® Windows® 7 32bit Professional	

本装置のマニュアルの構成

本装置の取扱説明書は、以下のとおり構成されています。使用する目的に応じて、お使いください。

マニュアル名称	内容
ご利用にあたって	本装置の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
機能説明書	本装置の便利な機能について説明しています。
トラブルシューティング	トラブルが起きたときの原因と対処方法を説明しています。
メッセージ集（本書）	システムログ情報などのメッセージの詳細な情報を説明しています。
仕様一覧	本装置のハード／ソフトウェア仕様とMIB/Trap一覧を説明しています。
コマンドユーザーズガイド	コマンドを使用して、時刻などの基本的な設定またはメンテナンスについて説明しています。
コマンド設定事例集	コマンドを使用した、基本的な接続形態または機能の活用方法を説明しています。
コマンドリファレンス	コマンドの項目やパラメタの詳細な情報を説明しています。
Webユーザーズガイド	Web画面を使用して、時刻などの基本的な設定またはメンテナンスについて説明しています。また、Web画面の項目の詳細な情報を説明しています。

目次

第 1 章　システムログ情報一覧 11

1.1　システムのメッセージ 12
1.1.1　システム起動 12
1.2　構成定義矛盾のメッセージ 13
1.2.1　ether duplex コマンド 13
1.2.2　ether mdi コマンド 13
1.2.3　ether type linkaggregation コマンド 13
1.2.4　ether type mirror コマンド(SR-X526R1) 15
1.2.5　ether type mirror コマンド(SR-X526R1 以外) 17
1.2.6　ether type backup, backup, linkaggregation コマンド 17
1.2.7　ether qos mode(drr), ether ratecontrol コマンド 19
1.2.8　ether vlan コマンド 20
1.2.9　vlan protocol コマンド 21
1.2.10　vlan forward コマンド 22
1.2.11　lan vlan コマンド 23
1.2.12　ether stp コマンド 23
1.2.13　lacp bpdu コマンド 24
1.2.14　IP アドレスの重複エラー 24
1.2.15　スイッチのフィルタ・QoS 設定上限オーバ(SR-X526R1) 25
1.2.16　スイッチのフィルタ・QoS 設定上限オーバ(SR-X526R1 以外) 26
1.2.17　設定上限オーバによるフィルタ・QoS 適用失敗(SR-X526R1 以外) 27
1.2.18　割り当てポート未設定 27
1.2.19　acl 条件が要求するスイッチ内部メモリの上限値超過(SR-X526R1 以外) 28
1.2.20　不当な SNMP エージェントアドレスの設定 29
1.2.21　STP(最大中継時間と最大有効時間の依存関係異常) 29
1.2.22　STP(Hello メッセージ送信間隔と最大有効時間の依存関係異常) 30
1.2.23　STP(ポートバージョン定義矛盾) 30
1.2.24　STP(インスタンス定義矛盾) 31
1.2.25　STP(BPDU 転送モード定義矛盾) 31
1.2.26　stp domain コマンド 31
1.2.27　ACL(MAC 異常) 32
1.2.28　ACL(VLAN 異常) 32
1.2.29　ACL(IP を無視) 32
1.2.30　ACL(IP6 を無視) 32
1.2.31　ACL(TCP を無視) 33
1.2.32　ACL(UDP を無視) 33
1.2.33　ACL(ICMP を無視) 33
1.2.34　ACL(定義存在せず) 34
1.2.35　ACL(定義無効) 34
1.2.36　ether L3 監視(定義矛盾) 34
1.2.37　リンクダウンリレー機能(定義矛盾) 36
1.2.38　ループ検出機能(定義矛盾) 37
1.2.39　MLAG(MAC テーブルフラッシュとの併用不可) 37
1.2.40　MLAG(STP との併用不可) 37
1.2.41　MLAG(バックアップポートとの併用不可) 38
1.2.42　MLAG(ether L3 監視との併用不可) 38
1.2.43　MLAG(IGMP スヌープとの併用不可) 38
1.2.44　MLAG(BPDU 転送との併用不可) 38
1.2.45　TACACS+/RADIUS 機能の併用無効 39
1.2.46　TACACS+認証機能無効 39
1.2.47　TACACS+認証相手側サーバ情報定義無効 39
1.2.48　TACACS+認可相手側サーバ情報定義無効 40
1.3　ルーティングマネージャのメッセージ(IPv6) 41
1.3.1　IPv6 プレフィックスの割り当て 41
1.3.2　IPv6 プレフィックスの重複 41

1.4 RA のメッセージ(IPv6) 42
1.4.1 デフォルトルータリストオーバフロー 42
1.4.2 プレフィックスリストオーバフロー 42
1.5 通信関連のメッセージ 43
1.5.1 物理ポートのリンクアップ 43
1.5.2 物理ポートのリンクダウン 43
1.5.3 物理ポートの閉塞状態への移行 43
1.5.4 リンクアグリゲーションポートのリンクアップ 44
1.5.5 リンクアグリゲーションポートのリンクダウン 44
1.5.6 論理ポートのリンクアップ 44
1.5.7 論理ポートのリンクダウン 45
1.5.8 バックアップポートの状態遷移 45
1.5.9 LACP リンクアグリゲーションポート送受信開始 47
1.5.10 LACP リンクアグリゲーションポート送受信停止 47
1.5.11 自動復旧停止機能による閉塞 47
1.5.12 リンクダウンリレー機能による閉塞 48
1.5.13 IPv6 アドレス重複検出 50
1.5.14 リダイレクト経路数超過 51
1.6 MLAG 関連のメッセージ 52
1.6.1 MLAG 状態の遷移 52
1.6.2 MLAG グループ状態の遷移 53
1.7 フィルタ・QoS 関連のメッセージ 54
1.7.1 スイッチドライバへの設定失敗 54
1.7.2 出力キュー未割り当て 54
1.8 セキュリティメッセージ 56
1.8.1 ProxyDNS による DNS 要求破棄 56
1.8.2 ProxyDNS による unicode DNS 要求の破棄 56
1.8.3 アプリケーションフィルタによるパケット破棄 56
1.9 コンソールのメッセージ 58
1.9.1 ログイン成功 58
1.9.2 ログイン失敗(認証エラー) 58
1.9.3 ログイン終了 58
1.10 telnet デーモンのメッセージ 60
1.10.1 ログイン成功 60
1.10.2 ログイン失敗(認証エラー) 60
1.10.3 ログイン終了 60
1.11 ftp デーモンのメッセージ 62
1.11.1 ログイン成功 62
1.11.2 ログイン失敗(認証エラー) 62
1.11.3 ファイル蓄積完了 62
1.11.4 ファイル回収完了 63
1.11.5 ログイン終了 63
1.12 ssh デーモンのメッセージ 65
1.12.1 ssh ホスト認証鍵生成開始 65
1.12.2 ssh ホスト認証鍵生成完了 65
1.12.3 ログイン失敗(認証エラー) 65
1.13 ssh ログインデーモンのメッセージ 66
1.13.1 ログイン成功 66
1.13.2 ログイン失敗(認証エラー) 66
1.13.3 ログイン終了 66
1.14 sftp デーモンのメッセージ 68
1.14.1 ログイン成功 68
1.14.2 ログイン失敗(認証エラー) 68
1.14.3 ファイル蓄積完了 68
1.14.4 ファイル回収完了 69
1.14.5 ログイン終了 69

1.15 http のメッセージ 71
1.15.1 ログイン成功. 71
1.15.2 ログイン失敗(認証エラー). 71
1.15.3 ログイン終了. 71
1.16 admin コマンドのメッセージ 73
1.16.1 admin 成功 73
1.16.2 admin 失敗(認証エラー) 73
1.16.3 admin 終了 74
1.17 ProxyDNS のメッセージ 75
1.17.1 DNS プロキシの問い合わせパケット 75
1.17.2 エラー検知によるパケット破棄. 75
1.18 SNMP のメッセージ 77
1.18.1 SNMP 認証失敗 77
1.19 ブリッジ／STP のメッセージ 78
1.19.1 異常 BPDU フレーム受信. 78
1.19.2 無効 BPDU フレーム受信. 78
1.19.3 ポート情報作成失敗(内部情報作成時) 78
1.19.4 ポート情報作成異常(インスタンス情報追加時) 79
1.19.5 インスタンス情報への VLAN 追加異常. 79
1.19.6 BPDU 転送モード設定異常. 79
1.19.7 定義反映異常(STP 動作モード) 80
1.19.8 定義反映異常(stp age コマンド) 80
1.19.9 定義反映異常(stp delay コマンド) 80
1.19.10 定義反映異常(stp hello コマンド) 81
1.19.11 定義反映異常(stp domain priority コマンド). 81
1.19.12 定義反映異常(stp config_id コマンド) 81
1.19.13 定義反映異常(stp max-hops コマンド) 82
1.19.14 定義反映異常(ether stp コマンド) 82
1.19.15 内部通信ソケット異常. 83
1.19.16 構成定義展開異常. 84
1.19.17 STP ポート情報異常. 84
1.19.18 未サポートメッセージ受信. 84
1.19.19 STP 内部情報領域獲得異常 84
1.19.20 トポロジチェンジ検出. 85
1.19.21 ルートブリッジ 85
1.19.22 インスタンスのトポロジチェンジ検出 85
1.19.23 インスタンスのルートブリッジ. 86
1.19.24 トポロジチェンジ検出ポート情報 86
1.20 ストーム制御のメッセージ. 87
1.20.1 ブロードキャスト／マルチキャストストーム異常検出メッセージ 87
1.20.2 ブロードキャスト／マルチキャストストーム復旧検出メッセージ 87
1.20.3 PAUSE ストーム検出メッセージ 87
1.20.4 PAUSE ストーム復旧検出メッセージ 88
1.21 LLDP 関連のメッセージ 89
1.21.1 ether lldp mode コマンド 89
1.21.2 送信 LLDPDU のオーバフロー. 89
1.22 ether L3 監視機能のメッセージ 90
1.22.1 ether L3 監視(異常検出). 90
1.23 IGMP スヌープ 91
1.23.1 マルチキャストエントリ登録失敗 91
1.23.2 マルチキャストエントリオーバフロー 91
1.24 ループ検出機能のメッセージ 92
1.24.1 ループ検出 92
1.24.2 ループ検出によるポート遮断 92
1.25 MAC テーブルフラッシュ機能のメッセージ 94
1.25.1 監視 MAC アドレスの学習ポートの移動検出 94

1.26 SSL のメッセージ 95
1.26.1 SSL 接続失敗 95
1.27 AAA/RADIUS のメッセージ 96
1.27.1 RADIUS 認証サーバ未応答 96
1.27.2 RADIUS 認証同時要求数オーバ 96
1.27.3 RADIUS 認証構成定義無効 96
1.27.4 RADIUS 認証メモリ枯渇 97
1.27.5 RADIUS 認証共有鍵不一致 97
1.27.6 Access-Challenge の受信 97
1.27.7 Message-Authenticator 不適性 98
1.27.8 EAP-Message の破棄(Message-Authenticator 未添付) 98
1.27.9 アトリビュート作成失敗(送信バッファオーバフロー) 98
1.27.10 認証処理失敗(メモリ枯渇) 99
1.27.11 未サポート EAP オプション受信 99
1.27.12 未サポートのパケット受信 100
1.27.13 メモリ枯渇による認証失敗 100
1.27.14 RADIUS 認証取り消し 100
1.27.15 RADIUS 認証サーバダウン 100
1.27.16 RADIUS 認証サーバ復旧 101
1.27.17 アクセスユーザのゲストユーザとしての受け入れ 101
1.27.18 サーバダウン時認証成功 102
1.28 AAA/TACACS+のメッセージ 103
1.28.1 TACACS+認証失敗 103
1.28.2 TACACS+認可失敗 103
1.28.3 TACACS+認証応答メッセージ 104
1.28.4 TACACS+認証サーバダウン 104
1.28.5 TACACS+認証サーバ復旧 105
1.28.6 TACACS+認可サーバダウン 105
1.28.7 TACACS+認可サーバ復旧 105
1.28.8 TACACS+認証サーバダウン時認証成功 106
1.28.9 TACACS+認可サーバダウン時認可成功 106
1.29 LLMNR 関連のメッセージ 107
1.29.1 自装置名の競合検出 107
1.29.2 自装置名の LLMNR による解決停止 107
1.29.3 自装置名の一意性確認処理の実行 107
1.30 USB メモリ関連のメッセージ 109
1.30.1 USB メモリの挿入 109
1.30.2 USB メモリの抜出 109
1.30.3 USB デバイス接続 109
1.30.4 USB デバイス切断 109
1.30.5 USB VBUS 過電流発生 110
1.30.6 ファイルシステムの不正 110
1.30.7 I/O エラー 110
1.30.8 ファイルシステムの不整合 110
1.31 USB マスストレージ制御関連のメッセージ 111
1.31.1 USB マスストレージクラスデバイスの認識成功 111
1.31.2 USB マスストレージクラスデバイスの認識失敗 111
1.31.3 USB デバイス抜去待ち状態 111
1.31.4 USB デバイスエラー発生 111
1.31.5 USB デバイスクラス判定失敗 112
1.32 外部メディアスタート機能のメッセージ 113
1.32.1 外部メディアスタート機能の動作の開始 113
1.32.2 外部メディアスタート機能の動作開始時のログファイルエラー 113
1.32.3 外部メディアスタート機能の動作開始時のパスワード認証エラー 113
1.32.4 外部メディアスタート機能の動作開始時のコマンドファイル作成エラー 113
1.32.5 外部メディアスタート機能の動作開始時のコマンドファイル読み込みエラー 114
1.32.6 外部メディアスタート機能の動作開始時の状態ファイルのエラー 114

1.32.7　外部メディアスタート機能の動作開始時の時刻取得エラー 114
1.32.8　外部メディアスタート機能の動作の完了 114
1.32.9　外部メディアスタート機能の動作のエラー終了 114
1.33　コンフィグトライアル機能のメッセージ 116
1.33.1　コンフィグトライアル機能の動作の開始 116
1.33.2　コンフィグトライアル機能による切り戻し動作の実行 116
1.33.3　コンフィグトライアル機能による切り戻し動作のエラー終了 116
1.33.4　コンフィグトライアル機能の動作のキャンセル 116
1.34　L2 ネットワークサービスのメッセージ 117
1.34.1　L2 ネットワークサービス起動異常 117
1.34.2　カーネル情報設定異常 117
1.34.3　内部通信ソケット異常(汎用ソケット) 117
1.34.4　内部通信ソケット受信異常(L2 ソケット異常) 118
1.34.5　内部通信ソケット受信異常(汎用ソケット異常) 118
1.34.6　ポート情報通知矛盾検出 118
1.34.7　受信データ矛盾検出 119
1.34.8　L2 プロトコル同期異常 119
1.34.9　ダウン通知同期異常 119
1.34.10　ポート活性化通知異常 120
1.34.11　ポート非活性化通知異常 120
1.34.12　追加処理異常 120
1.34.13　削除処理異常 122
1.35　その他のメッセージ 124
1.35.1　システムリセットエラー 124
1.35.2　動的定義反映実行 124
1.35.3　重複メッセージの省略 124
1.35.4　スケジュール機能による実行 125
1.35.5　コマンド実行履歴 125
1.35.6　夏時間の開始 125
1.35.7　夏時間の終了 126

第１章　システムログ情報一覧

1.1　システムのメッセージ

1.1.1　システム起動

【メッセージ】

```
init: system startup now.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

システムが起動したことを示します。

1.2　構成定義矛盾のメッセージ

1.2.1　ether duplex コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> duplex half definition is ignored.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ether duplex 定義による、半二重モード指定が不適切なため、設定を無視したことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号

1.2.2　ether mdi コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> mdi <mdi_mode> definition is ignored.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ether mdi 定義による、各モード指定が不適切なため、設定を無視したことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号
<mdi_mode>
auto: 自動設定モード
mdi : MDI 固定モード
mdix: MDI-X 固定モード

1.2.3　ether type linkaggregation コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> type linkaggregation <group_num> definition is invalid. half duplex mode cannot be
specified.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ether duplex 定義が、半二重モードであるため、このポートがリンクアグリゲーションのメンバポートに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<group_num>

リンクアグリゲーショングループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> type linkaggregation <group_num> definition is invalid. linkaggregation group has
not same speed for all member port.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

すべてのグループポートの ether mode 定義が一致していないため、このポートがリンクアグリゲーションのメンバポートに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<group_num>

リンクアグリゲーショングループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> type linkaggregation <group_num> definition is invalid. linkaggregation group has
not belong same vlan for all member port.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

すべてのグループポートの VLAN 定義内容が一致していないため、このポートがリンクアグリゲーションのメンバポートに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<group_num>

リンクアグリゲーショングループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> type linkaggregation <group_num> definition is invalid. member definition does not
continuous port exists.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メンバポートの構成が連続したポート番号のメンバで定義されていないため、このポートがリンクアグリゲーションのメンバポートに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<group_num>

リンクアグリゲーショングループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> type linkaggregation <group_num> definition is invalid. group member port definition
of <member_max> exists.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

グループメンバポート数が最大数を超えて定義されているため、このポートがリンクアグリゲーションのメンバポートに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<group_num>

リンクアグリゲーショングループ番号

<member_max>

グループメンバポートの最大数

1.2.4 ether type mirror コマンド(SR-X526R1)

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> type mirror definition is ignored. ether <mirror_port> mirror definition for tx
exists already
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

すでに送信用ミラーリングのターゲットポートが設定されているため、このポートが送信用ミラーリングポートに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<mirror_port>

ミラーリングポート番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> type mirror definition is ignored. ether <mirror_port> mirror definition for rx
exists already.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

すでに受信用ミラーリングのターゲットポートが設定されているため、このポートが受信用ミラーリングポートに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<mirror_port>

ミラーリングポート番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> type mirror definition is ignored. ether <mirror_port> mirror definition for tx and rx exists.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同一ターゲットポートに送信用および受信用両方が設定されているため、このポートがミラーリングポートに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<mirror_port>

ミラーリングポート番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> type mirror definition is ignored. ether <mirror_port> type mirror definition for source ether <mirror_port> is ignored.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ミラーのターゲットで指定したポートをソースとして指定することはできません。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<mirror_port>

ミラーのターゲットポート

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> mac storm definition is ignored. ether <ether_num> type mirror definition exists already.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定ポートはミラーリングのターゲットポートに設定されているため、STORM 制御が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号

1.2.5 ether type mirror コマンド(SR-X526R1 以外)

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> type mirror definition is ignored. ether <mirror_port> mirror definition exists already.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

すでにミラーリングのターゲットポートが設定されているため、このポートがミラーリングポートに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号
<mirror_port>
ミラーリングポート番号

1.2.6 ether type backup, backup, linkaggregation コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: <port_type> <num> type backup <group_num> definition is invalid. <port_type> <num> <priority> definition exists already.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

すでにバックアップポートのマスタポートまたはバックアップポートが設定されているため、このポートがバックアップポートに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<port_type>
ポート種別(ether、linkaggregation)
<num>
ポート種別が ether の場合は ether ポート番号
ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号
<group_num>
バックアップグループ番号
<priority>
ポートの優先度(master,backup)

【メッセージ】

```
l2nsm: backup <group_num> definition is invalid. <priority> is not defined.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップポートのマスタポートまたはバックアップポートが未定義であるため、バックアップポートの設定が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_num>
バックアップグループ番号
<priority>
ポートの優先度(master port,backup port)

【メッセージ】

```
l2nsm: backup <group_num> mode vlan-based is invalid. the same VLAN cannot be specified with master port and backup port.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

マスタポートおよびバックアップポートに同一のタグ VLAN が設定されているため、バックアップポート(vlan-based モード)の設定が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_num>
バックアップグループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: backup <group_num> mode vlan-based is invalid. untagged VLAN cannot be specified with master port or backup port.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

タグなし VLAN が設定されているため、バックアップポート(vlan-based モード)の設定が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_num>
バックアップグループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: backup <group_num> mode vlan-based is invalid. because STP definition is enable.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP 機能が設定されているため、バックアップポート(vlan-based モード)の設定が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_num>
バックアップグループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: backup <group_num> mode vlan-based is invalid. because backup standby definition is offline.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップポートの待機状態を閉塞に設定されているため、バックアップポート(vlan-based モード)の設定が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_num>
バックアップグループ番号

1.2.7 ether qos mode(drr), ether ratecontrol コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> ratecontrol definition is ignored. ether <ether_num> qos mode drr definition exists
already.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ether ratecontrol 設定と ether qos mode drr 設定を併用することはできません。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> qos mode drr definition is ignored. ether <ether_num> ratecontrol definition exists
already.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ether qos mode drr 設定と ether ratecontrol 設定を併用することはできません。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

1.2.8 ether vlan コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> vlan untag <vlan_id> definition is invalid. ether <ether_num> is tagged definition.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

この ether ポートには、同一の VLAN ID がタグありとして設定されているため、タグなしに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<vlan_id>

VLAN ID

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> vlan untag <vlan_id> definition is invalid. untagged port vlan defined already.
<vid=<untag_vlan_id>>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

この ether ポートには、すでにほかの VLAN ID でタグなし VLAN(untag_vlan_id)が定義されているため、(vlan_id)が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<vlan_id>

VLAN ID

<untag_vlan_id>

untag 定義された VLAN ID

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> vlan untag <vlan_id> definition is invalid. it failed in the protocol definition.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

プロトコル VLAN 条件定義に矛盾が存在したため、(vlan_id)が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号
<vlan_id>
VLAN ID

1.2.9 vlan protocol コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: vlan <vlan_id> protocol <protocol> definition is invalid. the same protocol has already been defined
by vlan <other_vlan_id>.
l2nsm: vlan <vlan_id> protocol count <protocol_num> definition is invalid. the same protocol has already been
defined by vlan <other_vlan_id>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同一のプロトコル条件定義がすでに存在するため、(vlan_id)が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<vlan_id>
VLAN ID
<protocol>
プロトコル種別(IPv4,IPv6,FNA)
<protocol_num>
プロトコル定義番号
<other_vlan_id>
すでにプロトコル定義済みの VLAN ID

【メッセージ】

```
l2nsm: vlan <vlan_id> protocol count <protocol_num> definition is invalid. protocol definition of <prt_max>
exists.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ユーザ定義プロトコルが最大数を超えて指定されたため、(vlan_id)が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<vlan_id>
VLAN ID
<protocol_num>
プロトコル定義番号
<prt_max>
プロトコル定義最大数

【メッセージ】

```
l2nsm: vlan <vlan_id> protocol count <protocol_num> definition is invalid. llc frame definition of <llc_max>
exists.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LLC 形式のユーザ定義プロトコルが最大数を超えて指定されたため、(vlan_id)が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<vlan_id>
VLAN ID
<protocol_num>
プロトコル定義番号
<llc_max>
LLC 形式フレーム定義最大数

1.2.10 vlan forward コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: vlan <vlan_id> forward <count> definition is invalid. vlan <vlan_id> forward <count> has same mac
address definition exists.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同一の MAC アドレスが指定済みのため、静的アドレス登録が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<vlan_id>
VLAN ID
<count>
定義番号

【メッセージ】

```
l2nsm: vlan <vlan_id> forward <count> definition is invalid. ether <ether_num> port is not defined in vlan
<vlan_id>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定ポートが VLAN エントリされていないため、静的アドレス登録が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<vlan_id>
VLAN ID
<count>
定義番号
<ether_num>
ether ポート番号

1.2.11 lan vlan コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: lan <lan_num> vlan <vlan_id> definition is invalid. vlan <vlan_id> is not defined.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LAN に関連付けする指定 VLAN が未登録のため、関連付けが設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<lan_num>
lan 番号
<vlan_id>
VLAN ID

【メッセージ】

```
l2nsm: lan <lan_num> vlan <vlan_id> definition is invalid. lan <other_lan_num> has same vid defined already.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LAN に関連付けする指定 VLAN がすでにほかの LAN と関連付けされているのため、関連付けが設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<lan_num>
lan 番号
<vlan_id>
VLAN ID
<other_lan_num>
lan 番号

1.2.12 ether stp コマンド

【メッセージ】

```
mstpd: ether <ether_num> stp use on definition is ignored. ether <ether_num> type mirror definition exists
already.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定ポートはミラーリングのターゲットポートに設定されているため、STP モードが設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号

1.2.13 lacp bpdu コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: Cannot set lacp bpdu forwarding mode(linkaggregation is enabled)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LACP 動作モードが有効なため、BPDU 設定モードが設定されなかったことを示します。

1.2.14 IP アドレスの重複エラー

【メッセージ】

```
enabled: <interface> has same network/address as <other_interface>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface>と <other_interface> の ネットワークアドレスが重複していることを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<other_interface>
インタフェース名

【メッセージ】

```
enabled: <interface> has same ip6 prefix as <other_interface>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface>と<other_interface>の IPv6 プレフィックスが重複したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<other_interface>
インタフェース名

1.2.15　スイッチのフィルタ・QoS 設定上限オーバ(SR-X526R1)

【メッセージ】

```
<component>: protocol vlan exceeds available hardware filter resources. <definition> is rejected
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

適用要求のあった protocol vlan フィルタを適用するとスイッチのフィルタ設定上限オーバとなることを示します。

【パラメタの意味】

<component>
出力コンポーネント名
・ protocol
<definition>
適用要求のあった protocol vlan 定義
・ vlan <vlan_id> protocol ipv4
・ vlan <vlan_id> protocol ipv6
・ vlan <vlan_id> protocol fna
・ vlan <vlan_id> protocol <count> ethertype <ether_type>
・ vlan <vlan_id> protocol <count> llc <ether_type>
<vlan_id>
適用失敗した VLAN ID
<count>
適用失敗した定義の優先順位
<ether_type>
プロトコル定義番号

【メッセージ】

```
<component>: acl <acl_count> exceeds available hardware filter resources. <definition> is rejected
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

適用要求のあったフィルタ・QoS を適用するとスイッチのフィルタ・QoS 設定上限オーバとなることを示します。

【パラメタの意味】

<component>
出力コンポーネント名
・ enabled

<definition>

適用要求のあった protocol vlan 定義

- ether <ether_num> macfilter <count> acl <acl_count>
- vlan <vlan_id> macfilter <count> acl <acl_count>
- lan <number> ip filter <count> acl <acl_count>
- ether <ether_num> qos aclmap <count> acl <acl_count>
- vlan <vlan_id> qos aclmap <count> acl <acl_count>
- lan <number> ip dscp <count> acl <acl_count>

<ether_num>

適用失敗した ether ポート番号

<vlan_id>

適用失敗した VLAN ID

<number>

適用失敗した lan 定義

<count>

適用失敗した定義の優先順位

<acl_count>

適用失敗した acl 定義番号

1.2.16　スイッチのフィルタ・QoS 設定上限オーバ(SR-X526R1 以外)

【メッセージ】

```
<component>: no enough <resources> table for <unit><number> free:<free>
necessary:<necessary>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

適用要求のあったフィルタ・QoS を適用するとスイッチのフィルタ・QoS 設定上限オーバとなることを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- protocol
- enabled

<resources>

- acl
  acl の設定上限オーバ
- rule
  rule の設定上限オーバ

<unit>

設定上限オーバとなる単位

- ether
  ether ポートで設定上限オーバ
- for <unit><number> の表示なし
  装置全体で設定上限オーバ

<number>

設定上限オーバとなる<unit>の番号、装置全体で設定上限オーバである場合は、表示されません。

<free>

空き設定数

<necessary>
必要設定数

1.2.17　設定上限オーバによるフィルタ・QoS 適用失敗(SR-X526R1 以外)

【メッセージ】

```
<component>: table over flow. <definition>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スイッチのフィルタ・QoS 設定上限オーバとなるため、適用要求のあったフィルタ・QoS のスイッチへの適用ができないことを示します。

なお、自装置あてパケットやフラグメントパケットなど、ソフト処理となるパケットに対する IP フィルタ機能(lan ip filter)、DSCP 書き換え機能(lan ip dscp)はスイッチのフィルタ・QoS 設定上限オーバとなった場合も適用されます。

【パラメタの意味】

<component>
出力コンポーネント名
- protocol
- enabled

<definition>
適用要求のあったフィルタ・QoS 定義
- ether <ether> macfilter <count> acl <acl>
- ether <ether> qos aclmap <count> acl <acl>
- vlan <vid> macfilter <count> acl <acl>
- vlan <vid> qos aclmap <count> acl <acl>
- lan <lan> ip filter <count> acl <acl>
- lan <lan> ip dscp <count> acl <acl>

<ether>
適用失敗した ether ポート番号

<vid>
適用失敗した VLAN ID

<lan>
適用失敗した lan 定義

<count>
適用失敗した定義の優先順位
<count>以降のフィルタ・QoS 定義は適用されません。

<acl>
acl 定義番号

1.2.18　割り当てポート未設定

【メッセージ】

```
<component>:<definition> invalid. <name> has no port
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

・ 該当インタフェースにポートが割り当てられていないため、そのインタフェースの IP フィルタまたは DSCP 書き換え定義ができなかったことを示します。
・ 該当 VLAN にポートが割り当てられていないため、その VLAN のフィルタまたは QoS 設定ができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<component>
出力コンポーネント名
・ protocol
・ enabled

<definition>
・ 適用要求のあった IP フィルタ・DSCP 書き換え定義
  － lan <no> ip filter
  － lan <no> ip dscp
    <no>
    適用失敗した lan 定義番号
・ 適用要求のあったフィルタ・QoS 設定
  － vlan <vid> macfilter <count> acl <acl>
  － vlan <vid> qos aclmap <count> acl <acl>
    <vid>
    適用失敗した VLAN ID
    <count>
    適用失敗した定義の優先順位
    <count>以降のフィルタ・QoS 定義は適用されません。
    <acl>
    acl 定義番号

<name>
インタフェース名

1.2.19 acl 条件が要求するスイッチ内部メモリの上限値超過(SR-X526R1 以外)

【メッセージ】

```
<component>: acl <acl> requires over-limit memory size of switch.
<definition> is rejected
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

アクセスコントロールリストが要求するスイッチ内部メモリ容量が上限値を超えたため、適用要求のあったフィルタ・QoS のスイッチ への適用ができないことを示します。
たとえば、アクセスコントロールリストが、"acl mac"、"acl ip"、"acl tcp"のすべての条件を any 以外で指定した場合は使用するスイッチ内部メモリが上限値を超えるため、条件を 2 つのアクセスコントロールリストに分割し適用する必要があります。

【パラメタの意味】

<component>
出力コンポーネント名
・ protocol
・ enabled

<acl>
acl 定義番号
<definition>
適用要求のあったフィルタ・QoS 定義
- ether <ether> macfilter <count> acl <acl>
- vlan <vid> macfilter <count> acl <acl>
- lan <lan> ip filter <count> acl <acl>
- ether <ether> qos aclmap <count> acl <acl>
- vlan <vid> qos aclmap <count> acl <acl>
- lan <lan> ip dscp <count> acl <acl>

<ether>
適用失敗した ether ポート番号
<vid>
適用失敗した VLAN ID
<lan>
適用失敗した lan 定義
<count>
適用失敗した定義の優先順位
<count>以降のフィルタ・QoS 定義も適用を試みます。
<acl>
acl 定義番号

1.2.20 不当な SNMP エージェントアドレスの設定

【メッセージ】

```
<component>: illegal SNMP agent address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置の IP アドレスとして割り当てられていない IP アドレスが SNMP エージェントアドレスとして定義されています。そのため、SNMP エージェントおよび TRAP 機能では、自装置の IP アドレスを使用します。SNMP マネージャとは正常に通信できない場合があります。

【パラメタの意味】

<component>
出力コンポーネント名
- enabled
- snmpd

1.2.21 STP(最大中継時間と最大有効時間の依存関係異常)

【メッセージ】

```
mstpd: Violates Forward delay - Max age relationship 2*(<delay_time> - 1)
>= <max_age>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

定義された最大中継遅延時間と最大有効時間の設定秒数が矛盾した設定であることを示します。
(2*(<delay_time> - 1) >= <max_age>でないことを示します)

【パラメタの意味】

<delay_time>
定義した最大中継遅延時間
<max_age>
定義した最大有効時間

1.2.22 STP(Helloメッセージ送信間隔と最大有効時間の依存関係異常)

【メッセージ】

```
mstpd: Violates Hello time - Max age relationship 2*(<hello> + 1) <= <max_age>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

定義されたHelloメッセージ送信間隔と最大有効時間の設定秒数が矛盾した設定であることを示します。
(2*(<hello> + 1) <= <max_age>でないことを示します)

【パラメタの意味】

<hello>
定義したHelloメッセージ送信間隔時間
<max_age>
定義した最大有効時間

1.2.23 STP(ポートバージョン定義矛盾)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Invalid STP version(<version>) for port(<port>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP動作モードとSTPポートバージョンの設定が矛盾しているため、設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<version>
設定しようとしたSTPバージョン
<port>
設定しようとしたポート名(ethxx)

1.2.24　STP(インスタンス定義矛盾)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set instance <instance_id> for bridge <bridge>
(STP mode isn't mstp)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP 動作モードが MSTP 以外の場合に 1 以上のインスタンス設定がされたため、設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<instance_id>
インスタンス番号
<bridge>
ブリッジ名

1.2.25　STP(BPDU 転送モード定義矛盾)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG] Cannot set bpdu forwarding mode(STP mode isn't disable)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP 動作モードが有効なため、BPDU 設定モードが設定されなかったことを示します。

1.2.26　stp domain コマンド

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set instance <instance_id>(<info>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インスタンス番号で指定されたインスタンス情報の定義反映が異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<instance_id>
設定しようとしたインスタンス番号
<info>
異常時内部情報

1.2.27　ACL(MAC 異常)

【メッセージ】

<スレッド名>:<機能名> acl <acl_count> mac is invalid

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、MAC に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<acl_count>
定義矛盾がある ACL 番号

1.2.28　ACL(VLAN 異常)

【メッセージ】

<スレッド名>:<機能名> acl <acl_count> VLAN is invalid

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、VLAN に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<acl_count>
定義矛盾がある ACL 番号

1.2.29　ACL(IP を無視)

【メッセージ】

<スレッド名>:<機能名> acl <acl_count> ip is invalid

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、IP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<acl_count>
定義矛盾がある ACL 番号

1.2.30　ACL(IP6 を無視)

【メッセージ】

<スレッド名>:<機能名> acl <acl_count> ip6 is invalid

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、IPv6 に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<acl_count>
定義矛盾がある ACL 番号

1.2.31 ACL(TCP を無視)

【メッセージ】

```
<スレッド名>:<機能名> acl <acl_count> tcp is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、TCP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<acl_count>
定義矛盾がある ACL 番号

1.2.32 ACL(UDP を無視)

【メッセージ】

```
<スレッド名>:<機能名> acl <acl_count> udp is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、UDP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<acl_count>
定義矛盾がある ACL 番号

1.2.33 ACL(ICMP を無視)

【メッセージ】

```
<スレッド名>:<機能名> acl <acl_count> icmp is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、ICMP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<acl_count>
定義矛盾がある ACL 番号

1.2.34 ACL(定義存在せず)

【メッセージ】

```
<スレッド名>:<機能名> acl <acl_count> doesn't exist
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL が存在せず、この ACL 番号に関してはすべてのプロトコルで無視することを示します。

【パラメタの意味】

<acl_count>
存在しない ACL 番号

1.2.35 ACL(定義無効)

【メッセージ】

```
<スレッド名>:<機能名> acl <acl_count> is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>での必要な定義がない、または定義矛盾があるため、ACL が無効であることを示します。

【パラメタの意味】

<acl_count>
無効として扱う ACL 番号

1.2.36 ether L3 監視(定義矛盾)

【メッセージ】

```
l2nsm: <port_type> <num> icmpwatch address out of interface
subnet. <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

監視先接続先 IP アドレスが、インタフェースのサブネット外であることを示します。

【パラメタの意味】

<port_type>
ポートの種別(ether、linkaggregation)
<num>
ポート種別が ether の場合は ether ポート番号
ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号
<address>
サブネット外である監視接続先 IP アドレス

【メッセージ】

```
l2nsm: <port_type> <num> icmpwatch address <address>. invalid
destination address.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

監視接続先 IP アドレスに自装置 IP アドレスが設定されていることを示します。

【パラメタの意味】

<port_type>
ポートの種別(ether、linkaggregation)
<num>
ポート種別が ether の場合は ether ポート番号
ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号
<address>
自装置 IP アドレス

【メッセージ】

```
l2nsm: <port_type> <num> icmpwatch is invalid. IP address is not defined.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置に IP アドレスが未設定のため、ether L3 監視の設定が無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<port_type>
ポートの種別(ether、linkaggregation)
<num>
ポート種別が ether の場合は ether ポート番号
ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> icmpwatch is invalid. ether type
definition is linkaggregation.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

タイプがリンクアグリゲーションである ether ポートに ether icmpwatch の設定を行ったため、ether icmpwatch が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

1.2.37 リンクダウンリレー機能(定義矛盾)

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> downrelay is ignored. because this port type is linkaggregation <group_num>, and downrelay definition is exists.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクアグリゲーションにリンクダウンリレー機能が設定されているため、リンクアグリゲーションのメンバである ether ポートに対して設定されているリンクダウンリレー機能が無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<group_num>

リンクアグリゲーショングループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> downrelay is ignored. because this port type is backup <group_num>, and downrelay definition is exists.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップポートに対してリンクダウンリレー機能が設定されているため、バックアップポートのメンバである ether ポートに対して設定されているリンクダウンリレー機能が無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<group_num>

バックアップ グループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: linkaggregation <la_group> downrelay is ignored. because this port type is backup <backup_group>, and downrelay definition is exists.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップポートに対してリンクダウンリレー機能が設定されているため、バックアップポートのメンバであるリンクアグリゲーションに対して設定されているリンクダウンリレー機能が無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<la_group>
リンクアグリゲーショングループ番号

<backup_group>
バックアップ グループ番号

1.2.38 ループ検出機能(定義矛盾)

【メッセージ】

```
l2nsm: loopdetect portblock definition is invalid in port <ether_num>.
because ether stp definition enabled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP 定義が有効なため、ループ検出のポート遮断機能が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号

1.2.39 MLAG(MAC テーブルフラッシュとの併用不可)

【メッセージ】

```
l2nsm: mac flush definition is ignored. because MLAG definition is enabled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG 機能が有効なため MAC テーブルフラッシュ設定が無効となったことを示します。

1.2.40 MLAG(STP との併用不可)

【メッセージ】

```
mstpd: STP definition is ignored. because MLAG definition is enabled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG 機能が有効なため STP 設定が無効となったことを示します。

1.2.41 MLAG(バックアップポートとの併用不可)

【メッセージ】

```
l2nsm: backup <group_id> definition is ignored. because MLAG definition is enabled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG 機能が有効なためバックアップポート設定が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>
バックアップグループ番号

1.2.42 MLAG(ether L3 監視との併用不可)

【メッセージ】

```
l2nsm: linkaggregation <group_id> icmpwatch definition is ignored. because MLAG definition is enabled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG 機能が有効なため ether L3 監視設定が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>
リンクアグリゲーショングループ番号

1.2.43 MLAG(IGMP スヌープとの併用不可)

【メッセージ】

```
l2nsm: IGMP snoop definition is ignored. because MLAG definition is enabled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG 機能が有効なため IGMP スヌープ設定が無効となったことを示します。

1.2.44 MLAG(BPDU 転送との併用不可)

【メッセージ】

```
mstpd: stp bpdu definition is ignored. because MLAG definition is enabled.
l2nsm: lacp bpdu definition is ignored. because MLAG definition is enabled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG 機能が有効なため BPDU 転送設定が無効となったことを示します。

1.2.45 TACACS+/RADIUS 機能の併用無効

【メッセージ】

```
aaa_tacacspd: aaa <group_id> tacacs+ service is not available: radius service is available.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同一グループ内で TACACS+クライアント機能と RADIUS クライアント機能を同時に設定したため、TACACS+クライアント機能が無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>
AAA グループ ID

1.2.46 TACACS+認証機能無効

【メッセージ】

```
aaa_tacacspd: aaa <group_id> tacacs+ authentication is not available: lack of configuration. <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

TACACS+認証の設定不足のために TACACS+認証の設定が無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>
AAA グループ ID
<reason>
不足している定義命令

1.2.47 TACACS+認証相手側サーバ情報定義無効

【メッセージ】

```
aaa_tacacspd: aaa <group_id> tacacs+ authentication <number> is not available: <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

TACACS+認証の相手側サーバ情報の設定が無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>
AAA グループ ID
<number>
認証サーバ定義番号
<reason>
無効理由
address family is contradicts.
自側 IP アドレスと相手側サーバ IP アドレスに矛盾したアドレスファミリが設定されたことを示します。
source is same address as server.
自側 IP アドレスと相手側サーバ IP アドレスに同一のアドレスが設定されたことを示します。

1.2.48 TACACS+認可相手側サーバ情報定義無効

【メッセージ】

```
aaa_tacacspd: aaa <group_id> tacacs+ authorization <number> is not available: <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

TACACS+認可の相手側サーバ情報の設定が無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>
AAA グループ ID
<number>
認可サーバ定義番号
<reason>
無効理由
address family is contradicts.
自側 IP アドレスと相手側サーバ IP アドレスに矛盾したアドレスファミリが設定されたことを示します。
source is same address as server.
自側 IP アドレスと相手側サーバ IP アドレスに同一のアドレスが設定されたことを示します。

1.3　ルーティングマネージャのメッセージ(IPv6)

1.3.1　IPv6 プレフィックスの割り当て

【メッセージ】

```
nsm: <prefix>/<prefixlen> was assigned to <interface> from <protocol>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RA で獲得した IPv6 プレフィックスをインタフェースに割り当てたことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>
IPv6 プレフィックスとプレフィックス長
<interface>
インタフェース名
<protocol>
プロトコル種別

1.3.2　IPv6 プレフィックスの重複

【メッセージ】

```
nsm: <prefix/prefixlen> cannot be assigned to <interface> from <protocol>, because duplicated.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RA で獲得した IPv6 プレフィックスが重複しているため、インタフェースに割り当てることができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>
IPv6 プレフィックスとプレフィックス長
<interface>
インタフェース名
<protocol>
プロトコル種別

1.4　RA のメッセージ(IPv6)

1.4.1　デフォルトルータリストオーバフロー

【メッセージ】

```
rtsold: overflow: default router list on <interface> from <src-addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースで受信可能なデフォルトルータの数を超えて RA を受信したため、デフォルトルータリストのエントリを作成しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
RA パケットを受信したインタフェース名

<src-addr>
RA パケットの送信元 IP アドレス

1.4.2　プレフィックスリストオーバフロー

【メッセージ】

```
rtsold: overflow: prefix <prefix>/<prefixlen> on <interface> from <src-addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースで設定可能なグローバルアドレス数を超えて、RA のプレフィックス情報を受信したため、プレフィックスリストのエントリを作成しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>
prefix 情報オプションの IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

<interface>
RA パケットを受信したインタフェース名

<src-addr>
RA パケットの送信元 IP アドレス

1.5　通信関連のメッセージ

1.5.1　物理ポートのリンクアップ

【メッセージ】

```
protocol: ether <port_num> link up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

物理ポートがリンクアップしたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_num>
ether ポート番号
マネージメントポートの場合"M1"と表示されます。

1.5.2　物理ポートのリンクダウン

【メッセージ】

```
protocol: ether <port_num> link down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

物理ポートがリンクダウンしたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_num>
ether ポート番号
マネージメントポートの場合"M1"と表示されます。

1.5.3　物理ポートの閉塞状態への移行

【メッセージ】

```
protocol: ether <port_num> is force down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

オペレータ指示によって、物理ポートを閉塞状態に移行したことを示します。

【パラメタの意味】

<port_num>
ether ポート番号
マネージメントポートの場合"M1"と表示されます。

1.5.4　リンクアグリゲーションポートのリンクアップ

【メッセージ】

```
protocol: linkaggregation <port_num> link up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクアグリゲーションポートがリンクアップしたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_num>
linkaggregation 定義番号

1.5.5　リンクアグリゲーションポートのリンクダウン

【メッセージ】

```
protocol: linkaggregation <port_num> link down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクアグリゲーションポートがリンクダウンしたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_num>
linkaggregation 定義番号

1.5.6　論理ポートのリンクアップ

【メッセージ】

```
protocol: lan <port_num> link up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

論理ポートがリンクアップしたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_num>
lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: oob 0 link up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

マネージメントポートがリンクアップしたことを示します。

1.5.7 論理ポートのリンクダウン

【メッセージ】

```
protocol: lan <port_num> link down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

論理ポートがリンクダウンしたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_num>
lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: oob 0 link down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

マネージメントポートがリンクダウンしたことを示します。

1.5.8 バックアップポートの状態遷移

【メッセージ】

```
protocol: backup <group_num> <priority> is <status> (<port_type> <num>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップポートが状態遷移したことを示します。

【パラメタの意味】

<group_num>
バックアップグループ番号
<priority>
ポートの優先度
master-port:
マスタポート

backup-port:
バックアップポート
<status>
遷移した状態
up :
稼動状態
standby:
待機状態
down :
停止状態
<port_type>
ポート種別(ether、linkaggregation)
<num>
ポート種別が ether の場合は ether ポート番号
ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号

【メッセージ】

protocol: backup <group_num> relearning notification complete, sent <pkt_num> packets. (<port_type> <num>)

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップポートの状態遷移により切替通知フレームの送信処理を完了したことを示します。

【パラメタの意味】

<group_num>
バックアップグループ番号
<pkt_num>
送信パケット数
<port_type>
ポート種別(ether,linkaggregation)
<num>
ポート種別が ether の場合は ether ポート番号
ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号

【メッセージ】

protocol: backup <group_num> relearning notification canceled, sent <pkt_num> packets. (<port_type> <num>)

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップポートの状態遷移により切替通知フレームの送信処理を途中終了したことを示します。

【パラメタの意味】

<group_num>
バックアップグループ番号
<pkt_num>
送信パケット数

<port_type>
ポート種別(ether,linkaggregation)
<num>
ポート種別が ether の場合は ether ポート番号
ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号

1.5.9 LACP リンクアグリゲーションポート送受信開始

【メッセージ】

```
l2nsm: lacp linkaggregation <group> ether <port_no> collecting/distributing start
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LACP によるリンクアグリゲーションポートが送受信状態となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
linkaggregation 定義番号
<port_no>
ポート番号(1～)

1.5.10 LACP リンクアグリゲーションポート送受信停止

【メッセージ】

```
l2nsm: lacp linkaggregation <group> ether <port_no> collecting/distributing stop
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LACP によるリンクアグリゲーションポートが送受信停止状態となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
linkaggregation 定義番号
<port_no>
ポート番号(1～)

1.5.11 自動復旧停止機能による閉塞

【メッセージ】

```
protocol: link down limit is over <count>. ether <port> is force down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自動復旧停止機能により、リンクダウン回数の上限値に達したために物理ポートを閉塞状態にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<count>
検出したリンクダウン回数
<port>
閉塞状態となった ether ポート番号

1.5.12　リンクダウンリレー機能による閉塞

【メッセージ】

```
protocol: link down relay occurred from <port>. ether <port_list> is force down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクダウンリレー機能により、物理ポートを閉塞状態にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<port>
リンクダウンを検出したポート
<port_list>
リンクダウンリレー機能により閉塞状態となった ether ポート番号リスト

【メッセージ】

```
protocol: link up relay occurred from <port>. ether <port_list> is force up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクダウンリレー閉塞解除機能により、物理ポートの閉塞状態を解除したことを示します。

【パラメタの意味】

<port>
リンクアップを検出したポート
<port_list>
リンクダウンリレー閉塞解除機能により閉塞状態を解除した ether ポート番号リスト

【メッセージ】

```
protocol: link down relay occurred from linkaggregation <group>. ether <port_list> is force down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクダウンリレー機能により、物理ポートを閉塞状態にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
リンクダウンを検出した linkaggregation 定義番号

<port_list>
リンクダウンリレー機能により閉塞状態となった ether ポート番号リスト

【メッセージ】

```
protocol: link up relay occurred from linkaggregation <group>. ether <port_list> is force up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクダウンリレー閉塞解除機能により、物理ポートの閉塞状態を解除したことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
リンクアップを検出した linkaggregation 定義番号

<port_list>
リンクダウンリレー閉塞解除機能により閉塞状態を解除した ether ポート番号リスト

【メッセージ】

```
protocol: link down relay occurred from backup <group>. ether <port_list> is force down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクダウンリレー機能により、物理ポートを閉塞状態にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
リンクダウンを検出したバックアップグループ番号

<port_list>
リンクダウンリレー機能により閉塞状態となった ether ポート番号リスト

【メッセージ】

```
protocol: link up relay occurred from backup <group>. ether <port_list> is force up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクダウンリレー閉塞解除機能により、物理ポートの閉塞状態を解除したことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
リンクアップを検出したバックアップグループ番号

<port_list>
リンクダウンリレー閉塞解除機能により閉塞状態を解除した ether ポート番号リスト

【メッセージ】

```
protocol: ether <port_list> cannot be force up.Because ether <port_list> is still link up.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクダウンリレー閉塞解除機能により、物理ポートの閉塞状態がリンクアップ状態(閉塞状態への移行中)のため、解除できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<port_list>
リンクダウンリレー閉塞解除機能により閉塞状態が解除できなかった ether ポート番号リスト

1.5.13 IPv6 アドレス重複検出

【メッセージ】

```
protocol: duplicate IPv6 address <address> detected in <interface>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

接続ネットワークで IPv6 アドレスの重複を検出したため、このアドレスが利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<address>
重複を検出した本装置の IPv6 アドレス

<interface>
IPv6 アドレス重複を検出したインタフェース

【メッセージ】

```
protocol: IPv6 link-local address <address> duplication detected, disable IPv6 interface(<interface>).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

接続ネットワークでリンクローカルアドレスの重複を検出したため、このインタフェース上での IPv6 を無効にしたことを示します。
無効になった IPv6 インタフェースを有効にするためには、IPv6 アドレスの再設定が必要になります。

【パラメタの意味】

<address>
重複を検出した本装置の IPv6 アドレス
<interface>
IPv6 を無効にしたインタフェース

1.5.14　リダイレクト経路数超過

【メッセージ】

```
protocol: ICMP6 redirect rejected. Redirect route overflow.(route=<route> target=<next_hop> src=<address>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 リダイレクト経路のエントリ数が最大値に達しているため、新たなリダイレクト経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>
破棄したリダイレクト経路情報
<next_hop>
破棄したリダイレクト経路の中継ルータ IPv6 アドレス
<address>
破棄したリダイレクト経路の送信元 IPv6 アドレス

1.6　MLAG 関連のメッセージ

1.6.1　MLAG 状態の遷移

【メッセージ】

```
mlagd: MLAG state is individual
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG 状態が individual(相手装置が未接続)状態に遷移したことを示します。

【メッセージ】

```
mlagd: MLAG state is active
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG 状態が active(相手装置と接続)状態に遷移したことを示します。

【メッセージ】

```
mlagd: MLAG state is conflict <cause>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG 状態が conflict(設定矛盾により相手装置と未接続)状態に遷移したことを示します。

【パラメタの意味】

<cause>
要因
(MLAG ID is not set)
MLAG ID が定義されていない
(peerlink is not set)
ピアリンクポートが定義されていない
(peerlink combination is inconsistent)
ピアリンクポートの組み合わせが正しくない
(peerlink number is different)
ピアリンクポートのポート数が異なる
(device type is different)
相手装置と機種が異なる
(domain is different)
相手装置とドメイン ID が異なる
(MLAG ID is same)
相手装置と MLAG ID が同一である

(hello interval is different)
相手装置と Hello パケットの送信間隔が異なる
(MLAG receives HELLO message from another device)
異なる相手装置からの HELLO メッセージを受信した
(MLAG Logical Device is already existed)
相手装置がすでに他装置と接続されている

1.6.2 MLAG グループ状態の遷移

【メッセージ】

```
mlagd: MLAG group <group_id> is up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG グループが up 状態となったことを示します。

【メッセージ】

```
mlagd: MLAG group <group_id> is down <cause>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG グループが down 状態となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>
リンクアグリゲーショングループ番号
<cause>
要因
なし
通常の状態遷移
(group ID is not existed)
相手装置に LA グループが設定されていない
(VLAN info is inconsistent)
相手装置と VLAN 設定が異なる
(aggregation mode is different)
相手装置と LA の動作モードが異なる
(algorithm is different)
相手装置とアルゴリズム設定が異なる
(capability is inconsistent)
相手装置と通信速度設定が異なる
(member port is over 8)
メンバポートの総数が最大の 8 本を超えている

1.7　フィルタ・QoS 関連のメッセージ

1.7.1　スイッチドライバへの設定失敗

【メッセージ】

```
<component>: driver can't <action> of <unit><number> (<error>)
```

【プライオリティ】

LOG_ERROR

【意味】

スイッチドライバへの設定が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<component>
出力コンポーネント名
・ protocol
・ enabled

<action>
スイッチドライバへ要求した設定の内容

<unit>
スイッチドライバへの設定が失敗した単位
・ ether
ether ポートでの設定失敗

<number>
設定失敗した<unit>の番号

<error>
失敗した要因コード

【メッセージ】

```
<component>: driver can't install a protocol vlan entry of vlan-id <vlan_id>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スイッチドライバへの protocol vlan フィルタ設定が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<component>
出力コンポーネント名
・ protocol

<vlan_id>
設定失敗した VLAN ID

1.7.2　出力キュー未割り当て

【メッセージ】

```
<component>:<definition> invalid. queue <name> is not assigned
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

該当出力キューが COS にアサインされていないため、その MAC フィルタまたは QoS 設定ができなかったことを示します。

SR-X526R1 では、ether qos prioritymap コマンドで該当出力キューを COS にアサインしてください。

SR-X526R1 以外では、qos cosmap コマンドで該当出力キューを COS にアサインしてください。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- protocol
- enabled

<definition>

適用要求のあったフィルタ・QoS 定義

- ether <ether> qos aclmap <count> acl <acl>
- vlan <vid> qos aclmap <count> acl <acl>

<ether>

適用失敗した ether ポート番号

<vid>

適用失敗した VLAN ID

<count>

適用失敗した定義の優先順位

<count>以降のフィルタ・QoS 定義も適用を試みます。

<acl>

acl 定義番号

1.8　セキュリティメッセージ

1.8.1　ProxyDNS による DNS 要求破棄

【メッセージ】

```
proxydns: rejected by <no> : QNAME [<type>:<qname>] from <ipaddr>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

ProxyDNS で、破棄指定により破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<no>
reject を行った proxydns 命令の転送先定義番号
<type>
問い合わせタイプ
<qname>
問い合わせホスト名
<ipaddr>
発信元ホストの IP アドレス

1.8.2　ProxyDNS による unicode DNS 要求の破棄

【メッセージ】

```
proxydns: rejected by unknown character : QTYPE [<type>] from <ipaddr>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

ProxyDNS で、非表示文字の破棄指定により破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<type>
問い合わせタイプ
<ipaddr>
発信元ホストの IP アドレス

1.8.3　アプリケーションフィルタによるパケット破棄

【メッセージ】

```
protocol: rejected at filter(<name>.<no>) : <SA> -> <DA>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

アプリケーションフィルタによって、パケットが破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>

サーバ機能名

<no>

フィルタリング定義番号

破棄を行ったアプリケーションフィルタ定義のフィルタリング定義番号が出力されます。どのフィルタリング定義にも該当せず、デフォルト定義に従って破棄を行った場合、“default”と出力されます。

<SA>

送信元アドレス

<DA>

あて先アドレス

1.9　コンソールのメッセージ

1.9.1　ログイン成功

【メッセージ】

```
logon: login <user> as <class> on console
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンソールで正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス

1.9.2　ログイン失敗(認証エラー)

【メッセージ】

```
logon: failed login <user> on console
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンソールでログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名

1.9.3　ログイン終了

【メッセージ】

```
logon: exit <user> as <class> on console [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンソールで exit した場合に出力されます。consoleinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<reason>
なし
exit コマンド実行によるログアウト
autologout
無操作監視による強制ログアウト

1.10 telnet デーモンのメッセージ

1.10.1 ログイン成功

【メッセージ】

```
telnetd: login <user> as <class> on telnet from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<address>
telnet 接続元アドレス
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス

1.10.2 ログイン失敗(認証エラー)

【メッセージ】

```
telnetd: failed login <user> on telnet from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet でログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<address>
telnet 接続元アドレス

1.10.3 ログイン終了

【メッセージ】

```
telnetd: exit <user> as <class> on telnet from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet で exit した場合に出力されます。telnetinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名

<address>
telnet 接続元アドレス

<class>
ログインクラス

admin
管理者クラス

user
一般ユーザクラス

<reason>

なし
exit コマンド実行によるログアウト

autologout
無操作監視による強制ログアウト

exclusive
コンソールログインによる排他ログアウト

1.11 ftp デーモンのメッセージ

1.11.1 ログイン成功

【メッセージ】

```
ftpd: login <user> as <class> on ftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<address>
クライアントの IP アドレス

1.11.2 ログイン失敗(認証エラー)

【メッセージ】

```
ftpd: failed login <user> on ftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp でログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<address>
クライアントの IP アドレス

1.11.3 ファイル蓄積完了

【メッセージ】

```
ftpd: <filename> Write complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル蓄積(クライアントからの put)により ROM が上書きされたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>
上書きされたファイル名

1.11.4　ファイル回収完了

【メッセージ】

```
ftpd: <filename> Read complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル回収(クライアントからの get)により ROM が読み出されたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>
読み出されたファイル名

1.11.5　ログイン終了

【メッセージ】

```
ftpd: exit <user> as <class> on ftp from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp でのログインを終了した場合に出力されます。
15 分間無操作状態が続いて自動切断により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<address>
クライアントの IP アドレス
<reason>
なし
exit コマンド実行によるログアウト

autologout
無操作監視による強制ログアウト
exclusive
コンソールログインによる排他ログアウト

1.12　ssh デーモンのメッセージ

1.12.1　ssh ホスト認証鍵生成開始

【メッセージ】

```
sshd: generating public/private host key pair.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

本装置の ssh ホスト認証鍵の生成を開始した場合に出力されます。

1.12.2　ssh ホスト認証鍵生成完了

【メッセージ】

```
sshd: generated public/private host key pair.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

本装置の ssh ホスト認証鍵の生成を完了した場合に出力されます。
本メッセージ出力後に ssh 接続できるようになります。

1.12.3　ログイン失敗(認証エラー)

【メッセージ】

```
sshd: failed login <user> on ssh/sftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ssh または sftp でユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<address>
クライアントの IP アドレス

1.13　sshログインデーモンのメッセージ

1.13.1　ログイン成功

【メッセージ】

```
sshlogin: login <user> as <class> on ssh from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sshで正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<address>
クライアントのIPアドレス

1.13.2　ログイン失敗(認証エラー)

【メッセージ】

```
sshlogin: failed login <user> on ssh from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sshでユーザ名が違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<address>
クライアントのIPアドレス

1.13.3　ログイン終了

【メッセージ】

```
sshlogin: exit <user> as <class> on ssh from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ssh で exit した場合に出力されます。telnetinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名

<class>
ログインクラス

admin
管理者クラス

user
一般ユーザクラス

<address>
クライアントの IP アドレス

<reason>

なし
exit コマンド実行によるログアウト

autologout
無操作監視による強制ログアウト

exclusive
コンソールログインによる排他ログアウト

1.14 sftp デーモンのメッセージ

1.14.1 ログイン成功

【メッセージ】

```
sftpd: login <user> as <class> on sftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sftp で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<address>
クライアントの IP アドレス

1.14.2 ログイン失敗(認証エラー)

【メッセージ】

```
sftpd: failed login <user> on sftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sftp でユーザ名が違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<address>
クライアントの IP アドレス

1.14.3 ファイル蓄積完了

【メッセージ】

```
sftpd: <filename> Write complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル蓄積(クライアントからの put)により ROM が上書きされたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>
上書きされたファイル名

1.14.4　ファイル回収完了

【メッセージ】

```
sftpd: <filename> Read complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル回収(クライアントからの get)により ROM が読み出されたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>
読み出されたファイル名

1.14.5　ログイン終了

【メッセージ】

```
sftpd: exit <user> as <class> on sftp from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sftp でのログインを終了した場合に出力されます。
15 分間無操作状態が続いて自動切断により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<address>
クライアントの IP アドレス
<reason>
なし
exit コマンド実行によるログアウト

autologout
無操作監視による強制ログアウト
exclusive
コンソールログインによる排他ログアウト

1.15 http のメッセージ

1.15.1 ログイン成功

【メッセージ】

```
httpd: login <user> as <class> on http from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

http または https で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<address>
http/https 接続元アドレス

1.15.2 ログイン失敗(認証エラー)

【メッセージ】

```
httpd: failed login <user> on http from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

http または https でログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<address>
http/https 接続元アドレス

1.15.3 ログイン終了

【メッセージ】

```
httpd: exit <user> as <class> on http from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

http または https で exit した場合に出力されます。時間制限による自動切断により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名

<class>
ログインクラス

admin
管理者クラス

user
一般ユーザクラス

<address>
http/https 接続元アドレス

<reason>

なし
exit コマンド実行によるログアウト

autologout
無操作監視による強制ログアウト

exclusive
ほかのログインによる排他ログアウト

1.16 adminコマンドのメッセージ

1.16.1 admin成功

【メッセージ】

```
<name>: admin: authentication to <user> succeeded on <apl_name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

adminコマンドで認証に成功し、正常に管理者クラスに移行できた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name>
adminコマンドを実行したプログラム
telexec
telnet で adminコマンドを実行した
sshexec
ssh で adminコマンドを実行した
cmdexec
コンソールで adminコマンドを実行した
<user>
ログインユーザ名
<apl_name>
adminコマンドを実行したアプリケーション名
telnet
telnet で adminコマンドを実行した
ssh
ssh で adminコマンドを実行した
console
コンソールで adminコマンドを実行した

1.16.2 admin失敗(認証エラー)

【メッセージ】

```
<name>: admin: authentication to <user> failed on <apl_name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

adminコマンドで認証に失敗し、管理者クラスに移行できなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name>
adminコマンドを実行したプログラム
telexec
telnet で adminコマンドを実行した

sshexec
ssh で admin コマンドを実行した
cmdexec
コンソールで admin コマンドを実行した
<user>
ログインユーザ名
<apl_name>
admin コマンドを実行したアプリケーション名
telnet
telnet で admin コマンドを実行した
ssh
ssh で admin コマンドを実行した
console
コンソールで admin コマンドを実行した

1.16.3 admin 終了

【メッセージ】

```
<name>: admin: exit <user> on <apl_name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

admin コマンドで管理者クラスに移行していた状態から一般ユーザクラスに復帰した場合に表示されます。

【パラメタの意味】

<name>
admin コマンドを実行したプログラム
telexec
telnet で admin コマンドを実行した
sshexec
ssh で admin コマンドを実行した
cmdexec
コンソールで admin コマンドを実行した
<user>
ログインユーザ名
<apl_name>
admin コマンドを実行したアプリケーション名
telnet
telnet で admin コマンドを実行した
ssh
ssh で admin コマンドを実行した
console
コンソールで admin コマンドを実行した

1.17 ProxyDNS のメッセージ

1.17.1 DNS プロキシの問い合わせパケット

【メッセージ】

```
proxydns: QNAME [<type>:<qname>] from <ipaddr> to <remote>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

発信契機となった DNS の問い合わせパケットの内容を示します。

【パラメタの意味】

<type>

問い合わせタイプ

<type>	番号	説明
“A”	1	host address
“NS”	2	authoritative server
“CNAME”	5	canonical name
“SOA”	6	start of authority zone
“MB”	7	mailbox domain name
“MG”	8	mail group member
“MR”	9	mail rename name
“NULL”	10	null resource record
“WKS”	11	well known service
“PTR”	12	domain name pointer
“HINFO”	13	host information
“MINFO”	14	mailbox information
“MX”	15	mail routing information
“TXT”	16	text strings
“AAAA”	28	IP6 Address
“SRV”	33	Server Selection
“ANY”	255	wildcard match
“Type[番号]”		上記以外

<qname>

問い合わせホスト名

<ipaddr>

発信元ホストの IP アドレス

<remote>

問い合わせ先ネットワーク名

1.17.2 エラー検知によるパケット破棄

【メッセージ】

```
proxydns: ERROR: record type <type>, class <class>, from <address>
QNAME [<name>]
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

不正と思われる type や class を持つ DNS 要求を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<type>
DNS 要求パケットの Type の値
<class>
DNS 要求パケットの Class の値
<address>
DNS 要求発行元の IP アドレス
<name>
DNS 要求を行った名前

1.18 SNMP のメッセージ

1.18.1 SNMP 認証失敗

【メッセージ】

```
snmpd: authentication failed. from <address> [<name>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

許可のない SNMP ホストからのアクセスがあったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

SNMP 認証失敗の原因となった IP アドレス

<name>

SNMP 認証に使用されたコミュニティ名(SNMPv1/SNMPv2c 時)またはユーザ名(SNMPv3 時)

1.19　ブリッジ／STP のメッセージ

1.19.1　異常 BPDU フレーム受信

【メッセージ】

```
mstpd: Invalid BPDU received on port <port_no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

フレーム長異常やサポート範囲外の BPDU バージョンのフレームを受信して破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
受信したポート番号(1～)

1.19.2　無効 BPDU フレーム受信

【メッセージ】

```
mstpd: Could not validate BPDU version(<type>) on port <port_no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP 動作モードと一致しない BPDU フレームを受信して破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<version>
受信した BPDU タイプの値
<port_no>
受信したポート番号(1～)

1.19.3　ポート情報作成失敗(内部情報作成時)

【メッセージ】

```
mstpd: Cannot add port(<port>) to br(<bridge>) in <action>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP ポート情報の追加に失敗し、ポート情報が作られなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<port>
ポート名(ethxx)

<bridge>
ブリッジ名
<action>
作成失敗時の動作

1.19.4　ポート情報作成異常(インスタンス情報追加時)

【メッセージ】

```
mstpd: Cannot add port(<port>) to instance <instance_id> (<info>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MSTP 使用時にインスタンス用ポート情報の追加に失敗し、ポート情報が作られなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<port>
ポート名(ethxx)
<instance_id>
インスタンス番号
<info>
異常時内部情報

1.19.5　インスタンス情報への VLAN 追加異常

【メッセージ】

```
mstpd: Cannot add vlan <vid> to instance <instance_id> : absent in
common instance
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MSTP 使用時にインスタンス情報への VLAN 追加が異常となり、インスタンス情報が作られなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<vid>
VID
<instance_id>
インスタンス番号

1.19.6　BPDU 転送モード設定異常

【メッセージ】

```
mstpd: Cannot set BPDU Forwarding mode on port(<port_no>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

BPDU 転送モード設定がポートに対して行えなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
設定が行えなかったポート番号(1～)

1.19.7 定義反映異常(STP 動作モード)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot disable MSTP for bridge
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP 動作モード(STP 無効時)の定義反映が異常となったことを示します。

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot enable MSTP for bridge
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP 動作モード(STP 有効時)の定義反映が異常となったことを示します。

1.19.8 定義反映異常(stp age コマンド)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set max-age(<max_age>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

最大有効時間の定義反映が異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<max_age>
設定しようとした最大有効時間

1.19.9 定義反映異常(stp delay コマンド)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set forward-time(<delay_time>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

最大中継遅延時間の定義反映が異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<delay_time>
設定しようとした最大中継遅延時間

1.19.10 定義反映異常(stp hello コマンド)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set hello-time(<hello>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

構成 BPDU の送信間隔の定義反映が異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<hello>
設定しようとした送信間隔

1.19.11 定義反映異常(stp domain priority コマンド)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set priority(<priority>) on instance
(<instance_type>:<instance_id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インスタンス番号で指定されたブリッジ優先度の定義反映が異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<priority>
設定しようとしたブリッジ優先度
<instance_type>
設定しようとしたインスタンスタイプ
<instance_id>
設定しようとしたインスタンス番号

1.19.12 定義反映異常(stp config_id コマンド)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set region
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MST 構成情報のリージョン名が設定されなかったことを示します。

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set revision-level(<level>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MST 構成情報のリビジョンレベルが設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<level>
設定しようとしたリビジョンレベル

1.19.13 定義反映異常(stp max-hops コマンド)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set max-hops(<hop>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

最大ホップカウントの定義反映が異常になったことを示します。

【パラメタの意味】

<hop>
設定しようとした最大ホップカウント

1.19.14 定義反映異常(ether stp コマンド)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set path cost for port <port>
(instance=<instance_type>:<instance_id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<port>へのパスコスト設定が異常になったことを示します。

【パラメタの意味】

<port>
ポート名(ethxx)

<instance_type>
設定しようとしたインスタンスタイプ
<instance_id>
設定しようとしたインスタンス番号

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set priority for port <port>
(instance=<instance_type>:<instance_id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<port>へのポート優先度設定が異常になったことを示します。

【パラメタの意味】

<port>
ポート名(ethxx)
<instance_type>
設定しようとしたインスタンスタイプ
<instance_id>
設定しようとしたインスタンス番号

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot create interface(<port>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<port>に関連したインタフェース情報生成が異常になったことを示します。

【パラメタの意味】

<port>
ポート名(ethxx)

1.19.15 内部通信ソケット異常

【メッセージ】

```
mstpd: Error opening socket (<err>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MSTPD で使用するソケット生成が異常になったことを示します。

【パラメタの意味】

<err>
エラー番号

1.19.16 構成定義展開異常

【メッセージ】

```
mstpd: Error mstpd configuration
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

起動時の構成定義展開処理が異常になったことを示します。

1.19.17 STP ポート情報異常

【メッセージ】

```
mstpd: Incorrect info type value received <info>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RSTP/MSTP 使用時のポート情報が不正であるため、ポートの役割が正しく決定しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<info>
内部情報

1.19.18 未サポートメッセージ受信

【メッセージ】

```
mstpd: Unknown msg_type received for port <port> - <type>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

L2NSM から MSTP が未サポートのメッセージを受信して破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<port>
ポート名(ethxx)
<type>
受信メッセージタイプ値

1.19.19 STP 内部情報領域獲得異常

【メッセージ】

```
mstpd: Could not allocate memory for <resource>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP 内部情報で使用する資源の獲得が異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<resource>
獲得できなかった資源情報

1.19.20 トポロジチェンジ検出

【メッセージ】

```
mstpd: Topology Change detected
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

トポロジの変更が検出されたことを示します。

1.19.21 ルートブリッジ

【メッセージ】

```
mstpd: Bridge became new Root Bridge
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

装置がルートブリッジになったことを示します。

1.19.22 インスタンスのトポロジチェンジ検出

【メッセージ】

```
mstpd: Topology Change detected(instance:<instance_id> last-port:
<port_no> all-ports:<port_list>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<instance_id>で示すインスタンスでトポロジの変更が検出されたことを示します。

【パラメタの意味】

<instance_id>
トポロジ検出したインスタンス番号
<port_no>
トポロジ検出時に最後に状態変更したポート番号

<port_list>
本トポロジ検出時に状態変更したほかのポート番号リスト

1.19.23 インスタンスのルートブリッジ

【メッセージ】

```
mstpd: Bridge became new Root Bridge(instance:<instance_id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<instance_id>で示すインスタンスで装置がルートブリッジになったことを示します。

【パラメタの意味】

<instance_id>
ルートブリッジになったインスタンス番号

1.19.24 トポロジチェンジ検出ポート情報

【メッセージ】

```
mstpd: Topology Change ports information(<instance_type> last-port:<port_no> all-ports:<port_list>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

トポロジの変更が検出されたポート情報を示します。

【パラメタの意味】

<instance_type>
トポロジ検出を行ったインスタンスタイプ
<port_no>
トポロジ検出時に最後に状態変更したポート番号
<port_list>
本トポロジ検出時に状態変更をしたほかのポート番号リスト

1.20　ストーム制御のメッセージ

1.20.1　ブロードキャスト／マルチキャストストーム異常検出メッセージ

【メッセージ】

```
protocol: Reception of the <frame_type> frame exceeded restriction.<ether=<ether_num>>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

監視していた受信レートが、しきい値を超えたことを示します。

【パラメタの意味】

<frame_type>
しきい値を超えたフレーム種別
multicast:
マルチキャストフレーム
broadcast:
ブロードキャストフレーム
<ether_num>
ether ポート番号

1.20.2　ブロードキャスト／マルチキャストストーム復旧検出メッセージ

【メッセージ】

```
protocol: Reception of the <frame_type> frame returned in restriction.<ether=<ether_num>>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

監視していた受信レートが、しきい値の範囲に復帰したことを示します。

【パラメタの意味】

<frame_type>
しきい値範囲に復帰したフレーム種別
multicast:
マルチキャストフレーム
broadcast:
ブロードキャストフレーム
<ether_num>
ether ポート番号

1.20.3　PAUSE ストーム検出メッセージ

【メッセージ】

```
protocol: Reception of the PAUSE frame exceeded restriction. <ether=<ether_num>>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PAUSE フレームの連続受信を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号

1.20.4 PAUSE ストーム復旧検出メッセージ

【メッセージ】

protocol: Reception of the PAUSE frame returned in restriction. <ether=<ether_num>>

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PAUSE フレームの連続受信が解消されたことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号

1.21 LLDP 関連のメッセージ

1.21.1 ether lldp mode コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> lldp mode <mode> definition is ignored. ether <ether_num> type mirror definition
exists already
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定ポートはミラーリングのターゲットポートに設定されているため、LLDP モードが設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<mode>

enable

LLDP 情報の送受信を行います。

send

LLDP 情報の送信だけを行います。

receive

LLDP 情報の受信だけを行います。

1.21.2 送信 LLDPDU のオーバフロー

【メッセージ】

```
lldpd: ether <number> send LLDPDU size overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LLDP 情報が送信可能なフレーム長を超えたため、送信する LLDPDU にすべての LLDP 情報を入れることができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

送信 LLDPDU にすべての LLDP 情報を入れることができなかったポートのポート番号

1.22 ether L3 監視機能のメッセージ

1.22.1 ether L3 監視(異常検出)

【メッセージ】

```
protocol: <port_type> <num> icmpwatch host is down. <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

監視先ノード、または接続回線に障害が発生し、異常が検出されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_type>
ポートの種別(ether、linkaggregation)
<num>
ポート種別が ether の場合は ether ポート番号
ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号
<address>
監視先 IP アドレス

1.23 IGMP スヌープ

1.23.1 マルチキャストエントリ登録失敗

【メッセージ】

```
mstpd: cannot register the multicast group entry
[<group_addr>(<vlan_id>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

マルチキャスト転送を制御するエントリの登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<group_addr>
登録に失敗したグループアドレス

<vlan_id>
登録に失敗した VLAN ID

1.23.2 マルチキャストエントリオーバフロー

【メッセージ】

```
mstpd: cannot be registered due to limit over [<group_addr>(<vlan_id>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

登録可能なエントリ数を超えたためにマルチキャストエントリの登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<group_addr>
登録に失敗したグループアドレス

<vlan_id>
登録に失敗した VLAN ID

1.24 ループ検出機能のメッセージ

1.24.1 ループ検出

【メッセージ】

```
l2loopd: Configuration Testing Protocol detects a loop in port <port1>
and port <port2>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ループ検出機能により、ループを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<port1>
フレームを受信したポート
<port2>
フレームを送信したポート

【メッセージ】

```
l2loopd: Configuration Testing Protocol detects a loop in port <port1> from [<machine> <mac> port<port2>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

他装置からのループ監視フレーム受信により、ループを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<port1>
監視フレームを受信したポート
<machine>
監視フレームを送信した装置名称(sysname、未設定時は機種名、最大 16 文字)
<mac>
監視フレームを送信した装置の MAC アドレス
<port2>
監視フレームを送信した装置の送信ポート

1.24.2 ループ検出によるポート遮断

【メッセージ】

```
l2loopd: Configuration Testing Protocol <status> port <port>
l2nsm: Configuration Testing Protocol <status> port <port>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ループ検出機能により、ポート遮断またはポート遮断を解除したことを示します。

【パラメタの意味】

<status>

blocked

遮断

unblocked

遮断解除

<port>

ポート番号

1.25 MACテーブルフラッシュ機能のメッセージ

1.25.1 監視MACアドレスの学習ポートの移動検出

【メッセージ】

```
<component>: MAC learning entry moved from
<type1> <port1> to <type2> <port2> [<mac_addr> vid=<vlan_id>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

監視対象のMACアドレスの学習ポートの移動を検出したこと示します。

【パラメタの意味】

<component>
出力コンポーネント名
- protocol
- bcmL2X.0
- bcmL2X.1
- axelctl

<type1>
移動前のポート種別(ether,linkaggregation)

<port1>
ポート種別がetherの場合は移動前のetherポート番号
ポート種別がlinkaggregationの場合は移動前のリンクアグリゲーショングループ番号

<type2>
移動後のポート種別(ether,linkaggregation)

<port2>
移動後のポート
ポート種別がetherの場合は移動後のetherポート番号
ポート種別がlinkaggregationの場合は移動後のリンクアグリゲーショングループ番号

<mac_addr>
監視対象のMACアドレス

<vlan_id>
VLAN ID

1.26 SSL のメッセージ

1.26.1 SSL 接続失敗

【メッセージ】

```
sslproxy: SSL/TLS handshake failed. <src_addr> -> <dst_addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

SSL ハンドシェイクに失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<src_addr>
SSL コネクションの自側 IP アドレス

<dst_addr>
SSL コネクションの相手側 IP アドレス

1.27 AAA/RADIUS のメッセージ

1.27.1 RADIUS 認証サーバ未応答

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>:
no response received.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS サーバから認証結果が通知されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名
<group_id>
AAA グループ ID

1.27.2 RADIUS 認証同時要求数オーバ

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>:
request too much.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、同時要求数が RADIUS プロトコルで扱える上限数を超えたため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名
<group_id>
AAA グループ ID

1.27.3 RADIUS 認証構成定義無効

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>:
invalid configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS の構成定義が無効だったため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名

<group_id>
AAA グループ ID

1.27.4 RADIUS 認証メモリ枯渇

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>:
memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、メモリが枯渇したため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名

<group_id>
AAA グループ ID

1.27.5 RADIUS 認証共有鍵不一致

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>:
bad authentication secret.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS サーバから応答を受け取ったものの共有鍵が一致しないため、応答を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名

<group_id>
AAA グループ ID

1.27.6 Access-Challenge の受信

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: Access-Challenge not support (<id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントが本装置で未サポートの Access-Challenge を受信したため、アクセスユーザの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名

1.27.7 Message-Authenticator 不適性

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: received Message-Authenticator have unmatched value (<id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RADIUS パケットの Message-Authenticator が一致しなかったため、受信パケットが改ざんされているものとして、破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名

1.27.8 EAP-Message の破棄(Message-Authenticator 未添付)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: received EAP-Message without Message-Authenticator (<id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した EAP-Message を含む RADIUS パケットに必須アトリビュートである Message-Authenticator 属性が添付されていなかったため、 受信パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名

1.27.9 アトリビュート作成失敗(送信バッファオーバフロー)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: attribute <attr_type> create failed. send buffer overflow
for aaa group <group_id> user id <id>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS サーバからクライアントに送信するアクセスユーザのユーザ情報が大き過ぎるため、送信パケットを破棄したことを示します。RADIUS サーバは 4096 バイト以上の認証結果をクライアントに通知できないため、アクセスユーザのユーザ情報に多数の経路情報を定義した場合などに、上記理由により送信パケットが破棄されることがあります。

【パラメタの意味】

<attr_type>
オーバフローしたアトリビュートの属性値

<group_id>
AAA グループ ID

<id>
アクセスユーザ名

1.27.10 認証処理失敗(メモリ枯渇)

【メッセージ】

```
aaad: cannot process due to no resource [mac=<mac_addr>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリ不足のため、認証要求が無視されたことを示します。

【パラメタの意味】

<mac_addr>
認証要求が無視された端末の MAC アドレス

1.27.11 未サポート EAP オプション受信

【メッセージ】

```
aaad: received option is not supported [option=<code>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した EAP に未サポートのオプションが含まれていたことを示します。

【パラメタの意味】

<code>
未サポートのオプションコード

1.27.12 未サポートのパケット受信

【メッセージ】

```
aaad: received unrecognized code packet [<code>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

未サポートパケットコードの EAP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<code>
未サポートのパケットコード

1.27.13 メモリ枯渇による認証失敗

【メッセージ】

```
aaad: cannot allocate memory to indicate about authentication result
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリ枯渇により認証処理が失敗したことを示します。

1.27.14 RADIUS 認証取り消し

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa
<group_id>: authentication canceled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、認証依頼元が認証要求を取り消したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名

<group_id>
AAA グループ ID

1.27.15 RADIUS 認証サーバダウン

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius authentication server <number> on aaa
<group_id> dead.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS 認証サーバが alive 状態から dead 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>
AAA グループ ID
<number>
認証サーバ定義番号

1.27.16 RADIUS 認証サーバ復旧

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius authentication server <number> on aaa
<group_id> alive.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS 認証サーバが dead 状態から alive 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>
AAA グループ ID
<number>
認証サーバ定義番号

1.27.17 アクセスユーザのゲストユーザとしての受け入れ

【メッセージ】

```
aaad: authentication request failed for <id> on aaa
<group_id>: accept as guest.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

アクセスユーザの認証は失敗しましたが、ゲストとしてアクセスが許可されたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名
<group_id>
AAA グループ ID

1.27.18　サーバダウン時認証成功

【メッセージ】

```
aaad: radius authentication server dead for <id> on aaa <group_id>: authentication request succeeded
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS サーバが dead 状態で、アクセスが許可されたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名
<group_id>
AAA グループ ID

1.28 AAA/TACACS+のメッセージ

1.28.1 TACACS+認証失敗

【メッセージ】

```
aaa_tacacspd: authentication <number> request failed for <id> on aaa <group_id>: <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

TACACS+認証が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<number>
認証サーバ定義番号

<id>
アクセスユーザ名

<group_id>
AAA グループ ID

<reason>
失敗理由

connect failed.
TACACS+サーバとの TCP 接続が失敗したことを示します。

disconnected by server.
TACACS+サーバから TCP 接続を切断されたことを示します。

no reply received.
認証要求に対して、TACACS+サーバから認証結果が通知されなかったことを示します。

invalid reply packet.
認証要求に対して、TACACS+サーバからの応答が異常であったため応答を破棄したことを示します。このメッセージは応答パケットがデータの破壊や改ざん、共有鍵不一致などにより、正常なパケットと判断できなかったことを示します。

1.28.2 TACACS+認可失敗

【メッセージ】

```
aaa_tacacspd: authorization <number> request failed for <id> on aaa <group_id>: <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

TACACS+認可が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<number>
認可サーバ定義番号

<id>
アクセスユーザ名

<group_id>
AAA グループ ID
<reason>
失敗理由
connect failed.
TACACS+サーバとの TCP 接続が失敗したことを示します。
disconnected by server.
TACACS+サーバから TCP 接続を切断されたことを示します。
no response received.
認可要求に対して、TACACS+サーバから認可結果が通知されなかったことを示します。
invalid response packet.
認可要求に対して、TACACS+サーバからの応答が異常であったため応答を破棄したことを示します。このメッセージは応答パケットがデータの破壊や改ざん、共有鍵不一致などにより、正常なパケットと判断できなかったことを示します。

1.28.3 TACACS+認証応答メッセージ

【メッセージ】

```
aaa_tacacspd: authentication <number> reply message for <id> on aaa <group_id>: status=<status>
message=<message>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

TACACS+クライアントの認証要求に対して、TACACS+サーバからの応答にメッセージが含まれている場合に表示されます。

【パラメタの意味】

<number>
認証サーバ定義番号
<id>
アクセスユーザ名
<group_id>
AAA グループ ID
<status>
応答パケットのステータスを示します。以下のどちらかのステータスを表示します。
- ERROR
  認証失敗。
- FOLLOW
  認証失敗。認証を代替のサーバで行うよう指定がある場合に示されます。

<message>
TACACS+認証サーバからのメッセージ内容を表示します。

1.28.4 TACACS+認証サーバダウン

【メッセージ】

```
aaa_tacacspd: tacacs+ authentication <number> on aaa <group_id> server dead.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

TACACS+認証サーバが alive 状態から dead 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<number>
認証サーバ定義番号
<group_id>
AAA グループ ID

1.28.5 TACACS+認証サーバ復旧

【メッセージ】

```
aaa_tacacspd: tacacs+ authentication <number> on aaa <group_id> server alive.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

TACACS+認証サーバが dead 状態から alive 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<number>
認証サーバ定義番号
<group_id>
AAA グループ ID

1.28.6 TACACS+認可サーバダウン

【メッセージ】

```
aaa_tacacspd: tacacs+ authorization <number> on aaa <group_id> server dead.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

TACACS+認可サーバが alive 状態から dead 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<number>
認可サーバ定義番号
<group_id>
AAA グループ ID

1.28.7 TACACS+認可サーバ復旧

【メッセージ】

```
aaa_tacacspd: tacacs+ authorization <number> on aaa <group_id> server alive.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

TACACS+認可サーバが dead 状態から alive 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<number>
認可サーバ定義番号
<group_id>
AAA グループ ID

1.28.8 TACACS+認証サーバダウン時認証成功

【メッセージ】

```
aaad: tacacs+ authentication server dead for <id> on aaa <group_id>: authentication request succeeded
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

TACACS+認証サーバが dead 状態で、アクセスが許可されたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名
<group_id>
AAA グループ ID

1.28.9 TACACS+認可サーバダウン時認可成功

【メッセージ】

```
aaad: tacacs+ authorization server dead for <id> on aaa <group_id>: authorization request succeeded
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

TACACS+認可サーバが dead 状態で、アクセスが許可されたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名
<group_id>
AAA グループ ID

1.29 LLMNR 関連のメッセージ

1.29.1 自装置名の競合検出

【メッセージ】

```
llmnrd: my name <name> conflicts with <address> on the same lan ({lan<number>|oob}).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LLMNR 機能で自装置名として使用しているホスト名の競合を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<name>
自装置名
<address>
装置名が競合している装置の IP アドレス
lan<number>/oob
競合を検出したインタフェース

1.29.2 自装置名の LLMNR による解決停止

【メッセージ】

```
llmnrd: stop sending Response due to conflict detection ({lan<number>|oob}).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LLMNR 機能で自装置名の競合を検出したため、自装置名の LLMNR による解決を停止することを示します。

【パラメタの意味】

lan<number>/oob
自装置名の LLMNR による解決を停止したインタフェース

1.29.3 自装置名の一意性確認処理の実行

【メッセージ】

```
llmnrd: start uniqueness verification for my name <name>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置名の一意性確認処理を実行したことを示します。
すでに同一名で LLMNR による解決を実行している装置がない場合、自装置名の LLMNR による解決を行います。

【パラメタの意味】

<name>
自装置名

1.30 USB メモリ関連のメッセージ

1.30.1 USB メモリの挿入

【メッセージ】

```
mountd: USB memory is inserted.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリが挿入されたことを示します。

1.30.2 USB メモリの抜出

【メッセージ】

```
mountd: USB memory is ejected.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリが抜出されたことを示します。

1.30.3 USB デバイス接続

【メッセージ】

```
usbd: USB Device Detected.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB デバイスが接続されたことを示します。

1.30.4 USB デバイス切断

【メッセージ】

```
usbd: USB Device Disconnect Completed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB デバイスが切断されたことを示します。

1.30.5　USB VBUS 過電流発生

【メッセージ】

```
usbd: USB VBUS Over Current Occurred.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB で、VBUS 過電流が発生したことを示します。

1.30.6　ファイルシステムの不正

【メッセージ】

```
mountd: file system on USB memory is broken. need format.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリを挿入したがファイルシステムが異常であり、フォーマットが必要なことを示します。

1.30.7　I/O エラー

【メッセージ】

```
mountd: I/O error on USB memory.
cmdexec: I/O error on USB memory.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリのアクセス中に I/O エラーが発生したことを示します。

1.30.8　ファイルシステムの不整合

【メッセージ】

```
mountd: file system on USB memory is broken.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリのアクセス中にファイルシステムの不整合を検出したことを示します。

1.31 USB マスストレージ制御関連のメッセージ

1.31.1 USB マスストレージクラスデバイスの認識成功

【メッセージ】

```
usbh_storage: Mass storage device initializing complete.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリ(マスストレージクラスデバイス)の挿入検出時、挿入されたデバイスを正常なマスストレージクラスデバイスと認識したことを示します。

1.31.2 USB マスストレージクラスデバイスの認識失敗

【メッセージ】

```
usbh_storage: Mass storage device initializing failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリ(マスストレージクラスデバイス)の挿入検出時、挿入されたデバイスを正常なマスストレージクラスデバイスと認識できなかったことを示します。

1.31.3 USB デバイス抜去待ち状態

【メッセージ】

```
usbh_storage: Waiting for unplugging the USB device.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリ(マスストレージクラスデバイス)の異常などを検出し、USB メモリの抜去待ち状態に入ったことを示します。

1.31.4 USB デバイスエラー発生

【メッセージ】

```
usbh_storage: Error occurred. : <error> at <state>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリ(マスストレージクラスデバイス)の異常を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<error>
エラー要因
<state>
エラーが発生した時点での内部状態

1.31.5　USB デバイスクラス判定失敗

【メッセージ】

```
usbd: [usbh_strg] Device detection failed. : The interface should be storage class and bulk only type.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ストレージクラス・バルクオンリータイプ以外の USB デバイスを検出したことを示します。
USB ポートには、USB メモリ以外の USB デバイスを接続することはできません。

1.32　外部メディアスタート機能のメッセージ

1.32.1　外部メディアスタート機能の動作の開始

【メッセージ】

```
mountd: start configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能によるコマンド実行が開始されたことを示します。

1.32.2　外部メディアスタート機能の動作開始時のログファイルエラー

【メッセージ】

```
mountd: cannot open log file in configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、ログファイルの作成失敗により動作中断されたことを示します。

1.32.3　外部メディアスタート機能の動作開始時のパスワード認証エラー

【メッセージ】

```
mountd: authentication error in configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、パスワード認証エラーにより動作中断されたことを示します。

1.32.4　外部メディアスタート機能の動作開始時のコマンドファイル作成エラー

【メッセージ】

```
mountd: script error in configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、デフォルトのコマンドファイル作成失敗により動作中断されたことを示します。

1.32.5　外部メディアスタート機能の動作開始時のコマンドファイル読み込みエラー

【メッセージ】

```
mountd: cannot open script file in configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、コマンドファイルのオープン失敗により動作中断されたことを示します。

1.32.6　外部メディアスタート機能の動作開始時の状態ファイルのエラー

【メッセージ】

```
mountd: invalid status file in configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、状態ファイルのエラーにより動作中断されたことを示します。

1.32.7　外部メディアスタート機能の動作開始時の時刻取得エラー

【メッセージ】

```
mountd: cannot get time in configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、時刻取得エラーにより動作中断されたことを示します。

1.32.8　外部メディアスタート機能の動作の完了

【メッセージ】

```
mountd: complete configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能によるコマンド実行が正常完了したことを示します。

1.32.9　外部メディアスタート機能の動作のエラー終了

【メッセージ】

```
mountd: error configuration by external storage device in line <line>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能によるコマンド実行がエラーにより中断されたことを示します。

【パラメタの意味】

<line>

エラー行の行番号

1.33　コンフィグトライアル機能のメッセージ

1.33.1　コンフィグトライアル機能の動作の開始

【メッセージ】

```
conftryd: start trying configuration
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的反映時に時間指定されることで、コンフィグトライアル機能の動作が開始されたことを示します。

1.33.2　コンフィグトライアル機能による切り戻し動作の実行

【メッセージ】

```
conftryd: restore previous configuration before trying
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンフィグトライアル機能により構成定義が正常に元に戻されたことを示します。

1.33.3　コンフィグトライアル機能による切り戻し動作のエラー終了

【メッセージ】

```
conftryd: cannot restore previous configuration before trying
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンフィグトライアル機能により構成定義を元に戻そうとしたが、エラー終了のため戻せなかったことを示します。

1.33.4　コンフィグトライアル機能の動作のキャンセル

【メッセージ】

```
conftryd: cancel trying configuration
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンフィグトライアル機能の動作がキャンセルされたことを示します。

1.34 L2 ネットワークサービスのメッセージ

1.34.1 L2 ネットワークサービス起動異常

【メッセージ】

```
l2nsm: Cannot initialize(<information>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

L2 ネットワークサービスの起動に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<information>
起動失敗時の詳細情報

1.34.2 カーネル情報設定異常

【メッセージ】

```
l2nsm: Cannot set kernel info(<error>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

カーネル情報の設定が異常のため、設定できずに L2 ネットワークサービスが停止したことを示します。

【パラメタの意味】

<error>
異常の要因コード

1.34.3 内部通信ソケット異常(汎用ソケット)

【メッセージ】

```
l2nsm: Cannot open socket for generic(<error>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

内部通信で使用するソケット生成が異常のため、L2 ネットワークサービスが停止したことを示します。

【パラメタの意味】

<error>
異常の要因コード

1.34.4　内部通信ソケット受信異常(L2 ソケット異常)

【メッセージ】

```
l2nsm: L2link socket could not received data(<error>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ポート状態の通知などに使用する内部通信ソケットの受信が、異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<error>
異常の要因コード

1.34.5　内部通信ソケット受信異常(汎用ソケット異常)

【メッセージ】

```
l2nsm: Generic socket could not received data(<error>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

他モジュールからの通知受信に使用する内部通信ソケットの受信が、異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<error>
異常の要因コード

1.34.6　ポート情報通知矛盾検出

【メッセージ】

```
l2nsm: Interface(<port>) is not found in l2link event(<event>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

通知されたポート情報が、L2 ネットワークサービスのポート情報と矛盾しているため、破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
通知されたポート番号(1～)
<event>
通知された情報種別

1.34.7　受信データ矛盾検出

【メッセージ】

```
l2nsm: Generic socket received data, but invalid data(<reason>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信したデータとL2ネットワークサービスの情報が矛盾しているため、破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<reason>
破棄した理由

1.34.8　L2プロトコル同期異常

【メッセージ】

```
l2nsm: L2 protocol sync mode is timed out in startup
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

起動時でのL2ネットワークサービスと各L2プロトコルとの同期処理がタイムアウトしたことを示します。

【メッセージ】

```
l2nsm: L2 protocol sync mode is canceled in enable
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

起動時でのL2ネットワークサービスと各L2プロトコルとの同期処理が解除されたことを示します。

1.34.9　ダウン通知同期異常

【メッセージ】

```
l2nsm: Down event is timed out in detach synchronous mode(<port_info>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

定義変更時でのポートダウン通知の同期処理がタイムアウトしたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_info>
同期処理がタイムアウトになったポート情報

1.34.10　ポート活性化通知異常

【メッセージ】

```
l2nsm: Cannot attach port(<port_info>)[<error>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

カーネルに対するポート活性化通知が異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<port_info>
活性化通知を行ったポート情報
<error>
通知異常の要因コード

1.34.11　ポート非活性化通知異常

【メッセージ】

```
l2nsm: Cannot detach port(<port_info>)[<error>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

カーネルに対するポート非活性化通知が異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<port_info>
非活性化通知を行ったポート情報
<error>
通知異常の要因コード

1.34.12　追加処理異常

【メッセージ】

```
l2nsm: [CONFIG] Interface(<port_no>) not bound(<error>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ポート情報の定義反映が行えず、該当ポートでの L2 ネットワークサービスが無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
無効となったポート番号(1～)

<error>
設定異常の要因コード

【メッセージ】

```
l2nsm: [CONFIG] Vlan[<vid>] add error(<mode>:<error>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VLAN 情報の定義反映が行えず、該当 VLAN での L2 ネットワークサービスが無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<vid>
VLAN ID
<mode>
動作モード
common
起動時、動的定義変更時動作
enable
動的定義変更時動作
<error>
設定異常の要因コード

【メッセージ】

```
l2nsm: [CONFIG] Cannot bind vlan[<vid>] to port[<port_no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VLAN 情報のポートへの定義反映が行えず、該当ポート、該当 VLAN での L2 ネットワークサービスが無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<vid>
VLAN ID
<port_no>
ポート番号(1～)

【メッセージ】

```
l2nsm: [CONFIG] Cannot add vlan[<vid>] to port[<port_no>](<error>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VLAN 情報のポートへの定義反映が行えず、該当ポート、該当 VLAN での L2 ネットワークサービスが無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<vid>
VLAN ID
<port_no>
ポート番号(1～)
<error>
設定異常の要因コード

1.34.13 削除処理異常

【メッセージ】

```
l2nsm: [CONFIG] Vlan[<vid>] delete error(<error>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VLAN 情報の定義削除が行えず、該当 VLAN での L2 ネットワークサービスが継続されることを示します。

【パラメタの意味】

<vid>
VLAN ID
<error>
設定異常の要因コード

【メッセージ】

```
l2nsm: [CONFIG] Cannot unbind vlan[<vid>] to port[<port_no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VLAN 情報のポートへの定義削除が行えず、該当ポート、該当 VLAN での L2 ネットワークサービスが継続することを示します。

【パラメタの意味】

<vid>
VLAN ID
<port_no>
ポート番号(1～)

【メッセージ】

```
l2nsm: [CONFIG] Cannot delete vlan[<vid>] to port[<port_no>](<error>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VLAN 情報のポートへの定義削除が行えず、該当ポート、該当 VLAN での L2 ネットワークサービスが継続することを示します。

【パラメタの意味】

<vid>
VLAN ID

<port_no>
ポート番号(1～)

<error>
設定異常の要因コード

1.35　その他のメッセージ

1.35.1　システムリセットエラー

【メッセージ】

```
<name>: ERROR: system reset busy.
```

【プライオリティ】

LOG_ERROR

【意味】

リセット処理を実施しようとしたが、ファーム更新中、構成定義の保存中、他スレッドでリセット処理中などにより、リセット処理ができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<name>
リセットを実施したプログラム
scheduled
スケジュールによるリセット
telexec
telnet からのコマンドによるリセット
sshexec
ssh からのコマンドによるリセット

1.35.2　動的定義反映実行

【メッセージ】

```
enabled: system configuration restarted
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的定義反映が実行されたことを示します。

1.35.3　重複メッセージの省略

【メッセージ】

```
same message repeated <num> times
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同じメッセージが繰り返されたので表示を省略したことを示します。

【パラメタの意味】

<num>
繰り返された回数

1.35.4　スケジュール機能による実行

【メッセージ】

```
scheduled: schedule command "<command>" executed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スケジュール機能によりコマンドが実行されたことを示します。

【パラメタの意味】

<command>
実行されたコマンド

1.35.5　コマンド実行履歴

【メッセージ】

```
<name>: command "<command>" executed by <user>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コマンドが実行されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>
コマンドを実行したプログラム
telnetd
telnet でコマンドを実行した
sshlogin
ssh でコマンドを実行した
logon
コンソールでコマンドを実行した
<command>
実行されたコマンド
<user>
コマンドを実行したユーザ名

1.35.6　夏時間の開始

【メッセージ】

```
<component>: summer time start
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

夏時間が開始したことを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- scheduled
- cmdexec

1.35.7　夏時間の終了

【メッセージ】

```
scheduled: summer time stop
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

夏時間が終了したことを示します。

SR-X　メッセージ集

P3NK-5172-02Z0

発行日　　2018年6月

発行責任　　富士通株式会社